

第10回新市将来構想策定小委員会次第

日時:平成15年8月26日(火)
午後6時30分から8時30分まで
場所:長岡市役所大会議室

1 開会

2 議事

- (1) 新市統合ビジョンについて
- (2) 地域別整備・活動方針について
- (3) 地域別活動展開について
- (4) 新市全体で取り組む活動展開について

3 その他

- (1) 次回小委員会の日程について

4 閉会



2003年8月26日
長岡地域任意合併協議会事務局

1. 検討のための与件

新市統合ビジョン(表現)に求められる事柄は、次のように整理されます。

統合ビジョンは、4つの「新市地域らしさ価値」の共通的な意味を総括し、新ながおかの姿勢を表現する地域スローガンである。

(1) 言葉の意味・適合性

統合ビジョンでは、「人=ヒト」を「財=タカラ」として栄続的に繁栄する都市を表現する。

地域の人々の可能性や才能といった人間性を尊重し、それらの人々の活動によって、長久の繁栄を獲得する都市であること

(2) 言葉の響き・面白さ

この地域スローガンは、地域内の人々はもとより、地域外の人々にとって「おや？」や「おもしろそうなことをやっていそうだ」といった興味をもたれる表現である必要性が優先される。

(3) スローガンの簡潔性

上記のように、この訴求事項は情報発信の意味が強いことから、より少ない文字数で、端的に表現されたスローガンである必要がある。

2. 新市統合ビジョン案

前回の小委員会で絞られた意見

人財悠久都市・新ながおか

人財悠久繁栄都市・新ながおか

人は財、悠久の都市・新ながおか
たから まち

人財いきいき都市・新ながおか

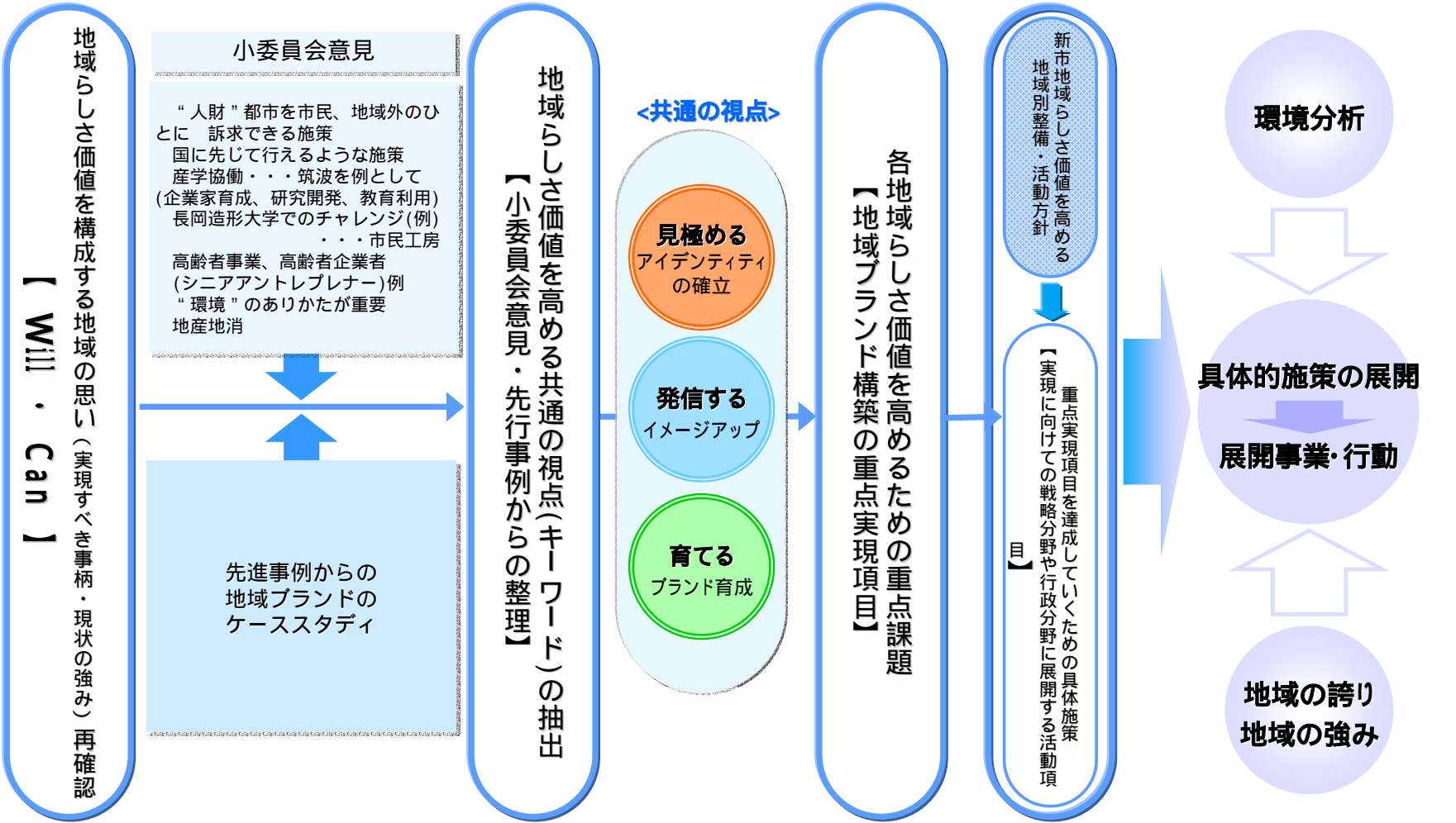
**「新市地域らしさ価値」を高めるための
地域別整備・活動方針(修正案)**

2003年8月26日

長岡地域任意合併協議会事務局

新都市将来構想を考える流れ

建設計画策定



<ワークショップ作業>

地域別整備・活動方針

【独創企業が生まれ育つ都市 ~誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか~】

三島町
確かな伝統の技で信頼・支持されるモノづくり発信地

実現すべき事柄
ものづくりへの誠実さ、確かさ、粘り強さを維持・発信する地域となる

越路町
豊かな自然環境がつくる21世紀のクリーンエネルギーに育まれるまちの創造

実現すべき事柄
・自然環境に育まれる地場産業の振興・支援
・天然ガスを活用したクリーンエネルギー産業の創出・育成

小国町
伝統技術の継承と独自技術を活かしたこだわりの里づくり

実現すべき事柄
小国和紙等の伝統技術や独自技術の継承および発信により、に残るものを生み出す技術へのこだわりを誇りを持ち、高付加価値化を実現する

中之島町
抜群の広域アクセシビリティ・立地環境を活用した独創企業支援地域

実現すべき事柄
抜群の流通機能と豊かな生活環境から生れる豊富な労働力を活かし、生育する新産業等の独創企業を支える地域づくりを行う

長岡市
世界のモデルとなる独創企業生育拠点への挑戦

実現すべき事柄
ものづくりの確かな技術と人、モノ、情報の集積を強化し、世界に広がる夢を現実に変える都市(空間、機能、仕組み)の創造

山古志村
自然美、人間美から生まれる究極ブランドを守り、育て、独創企業に提供していく地域

実現すべき事柄
新ながおかのものづくりに対する“独創性”を歴史・伝統で裏付け、自然環境を活用し、支援する地域となる

見附市
高度技術・高感性をもつ人材による多様な産業の花が咲くまちの創造

実現すべき事柄
ファッション産業による豊富な技術と他分野産業、研究機関を活かした産学官連携による新ビジネス開発拠点地域となる

栃尾市
繊維産業を核とし、素材からこだわる多分野の栃尾ブランドづくり

実現すべき事柄
繊維工業技術の幅広い活用と、きれいな水と空気を活かした新世代産業の創出地となる

地域別整備・活動方針

【元気に満ちた米産地 ~まごころ米の生まれる里・新ながおか~】

三島町
「人と自然」の元気を生かした環境循環型農業の拡大地域

実現すべき事柄
高付加価値な農産物づくりを実践し、新ながおかの先進的な取り組みを広げ、産業化していく地域となる

越路町
最先端技術と確かな技が生み出す元気のあふれる米生産・技術導入拠点の創造

実現すべき事柄
・安心、安全、おいしい米生産の追求に向けた新しい栽培技術導入への挑戦
・安心な米生産と環境一体化の模索

小国町
安全で味にこだわる食の里づくり

実現すべき事柄
おいしくて特徴のある食の生産・発信地としての発展

中之島町
若く元気な住民パワーによる安全・安心・美しい食産基地

実現すべき事柄
地域づくりに積極的に取り組む住民力(かあちゃんパワー)による、安全・安心・新鮮な農産物の供給地域

長岡市
日本の食文化の誇りを育て、伝統を活かした「新ながおかブランド」の食の拠点として全国へ展開

実現すべき事柄
たゆまぬ研究と歴史に支えられた、生産から消費、市場拡大まで、日本を元気にする、あらゆる食の先進モデル地域としての展開を強化

山古志村
自然にいだかれた技と人の汗が創り出す、安心安全食の体験地域(来て、見て、食べて)

実現すべき事柄
伝統の食づくりを守り続け、人々に感動を与える地域イメージ発信地となる

見附市
健康に満ち溢れた農産地の創造

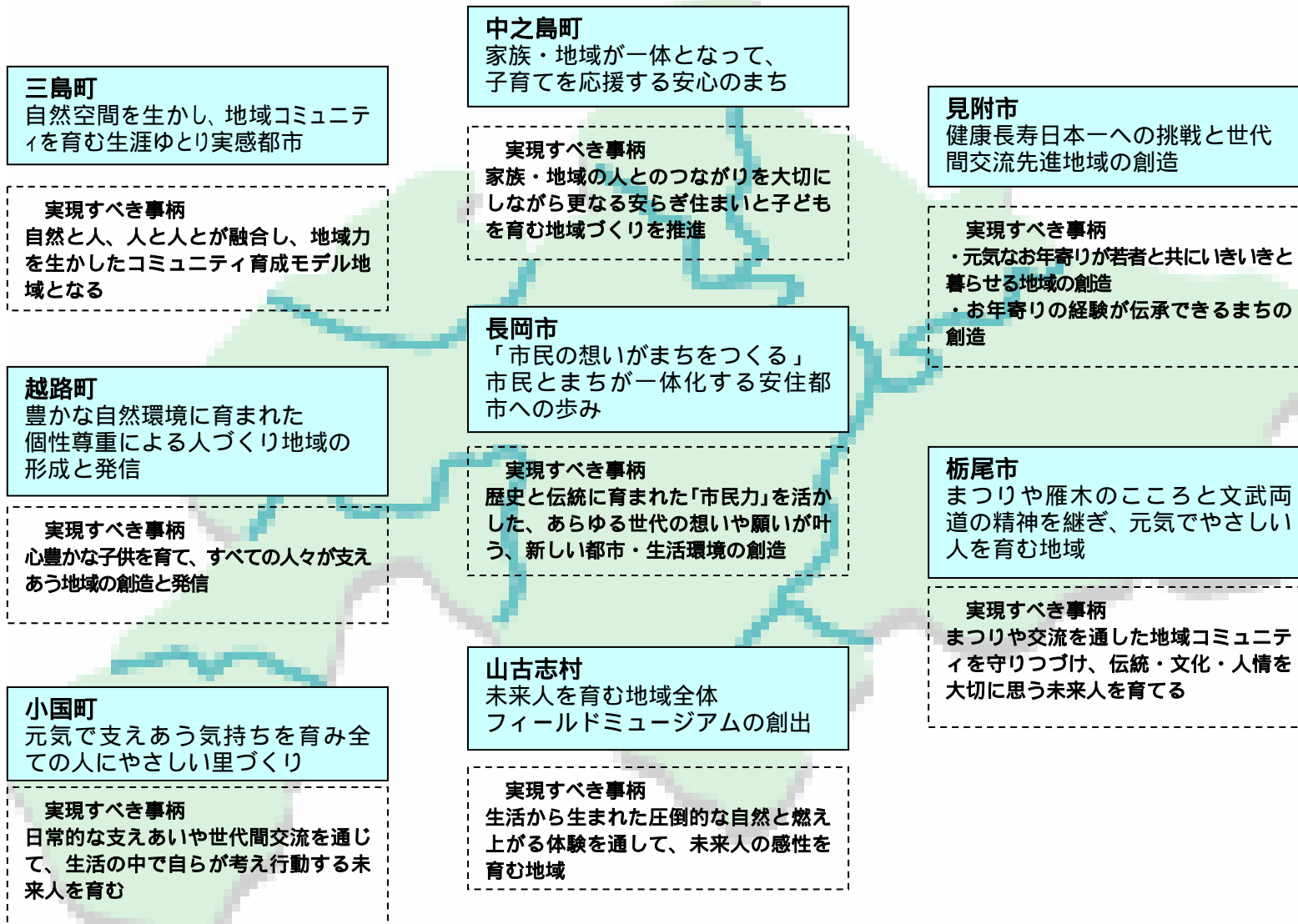
実現すべき事柄
「食」「生産」「人材」「消費者の食の安全性」の視点を生かした健康農業地域づくり

栃尾市
自然に培われた確かな素材による、『新ながおか名物』を生み発信する

実現すべき事柄
自然を生かした新たな「食」をつくり広げる地域となる

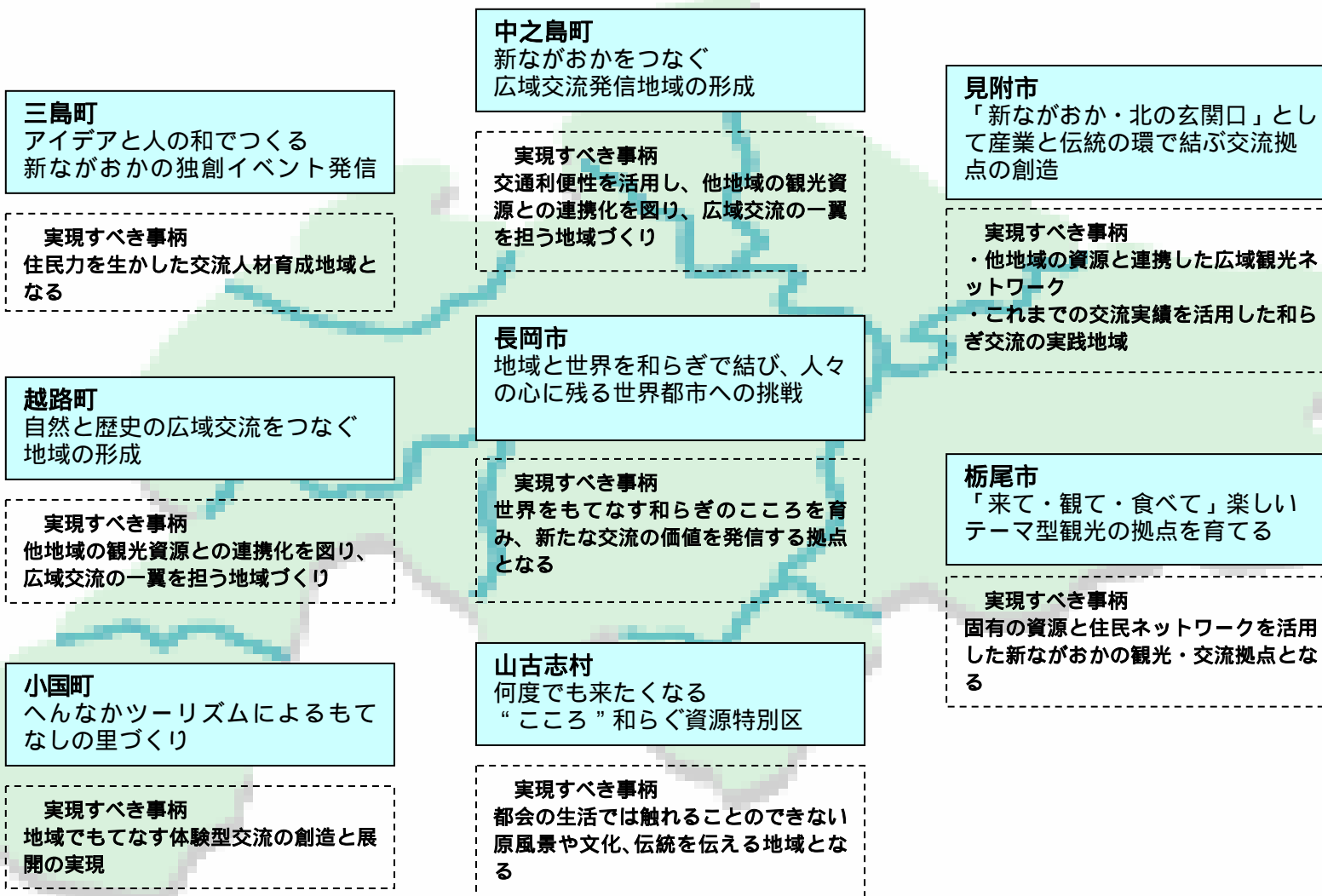
地域別整備・活動方針

【世代がつながる安住都市 ~未来人を育む資源博物館・新ながおか~】



地域別整備・活動方針

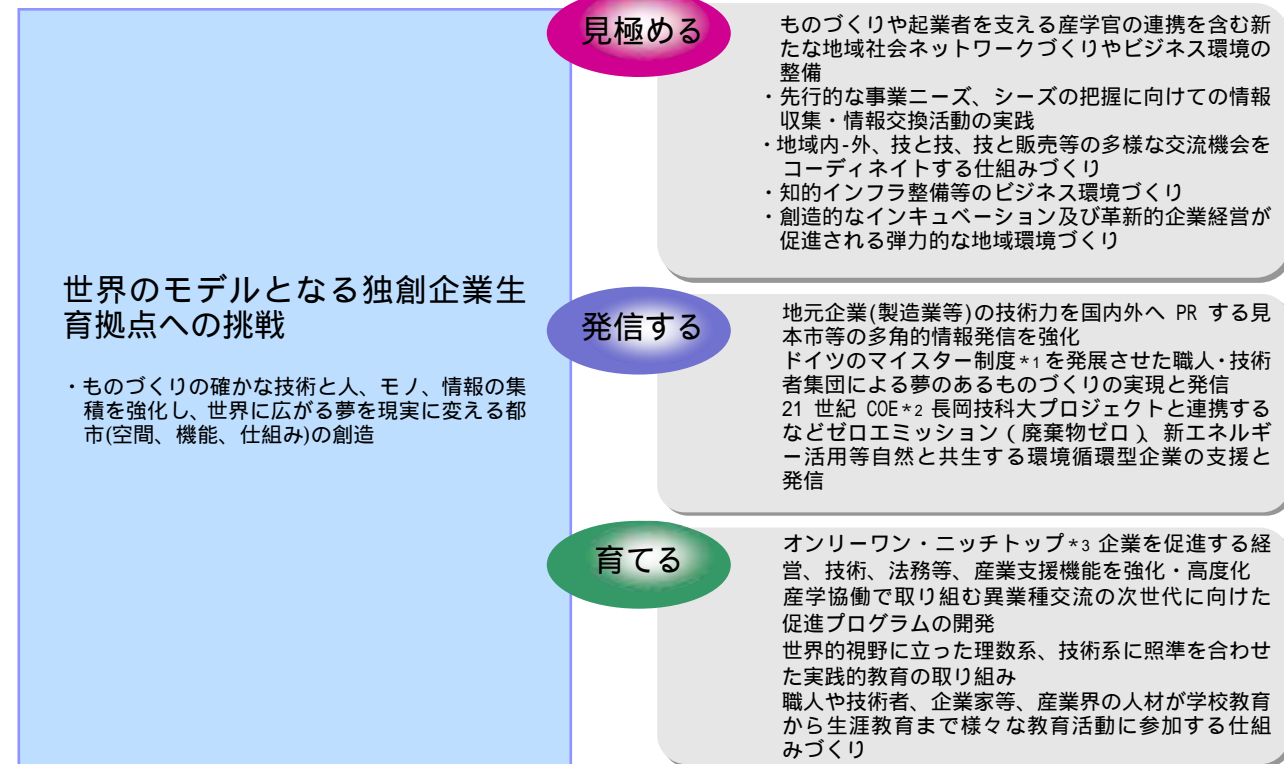
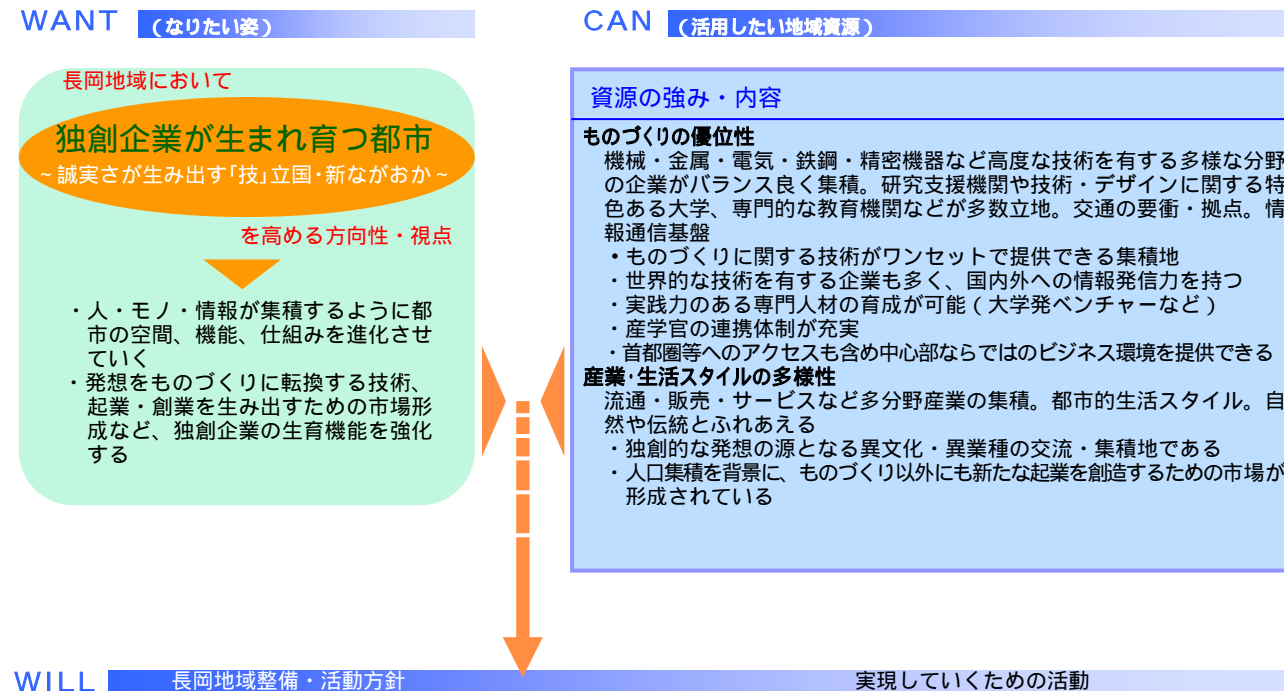
【世界をつなぐ和らぎ交流都市 ~「人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか~】



新市地域らしさ価値を高めていくための
地域別活動展開（案）について

2003年8月26日

長岡地域任意合併協議会事務局

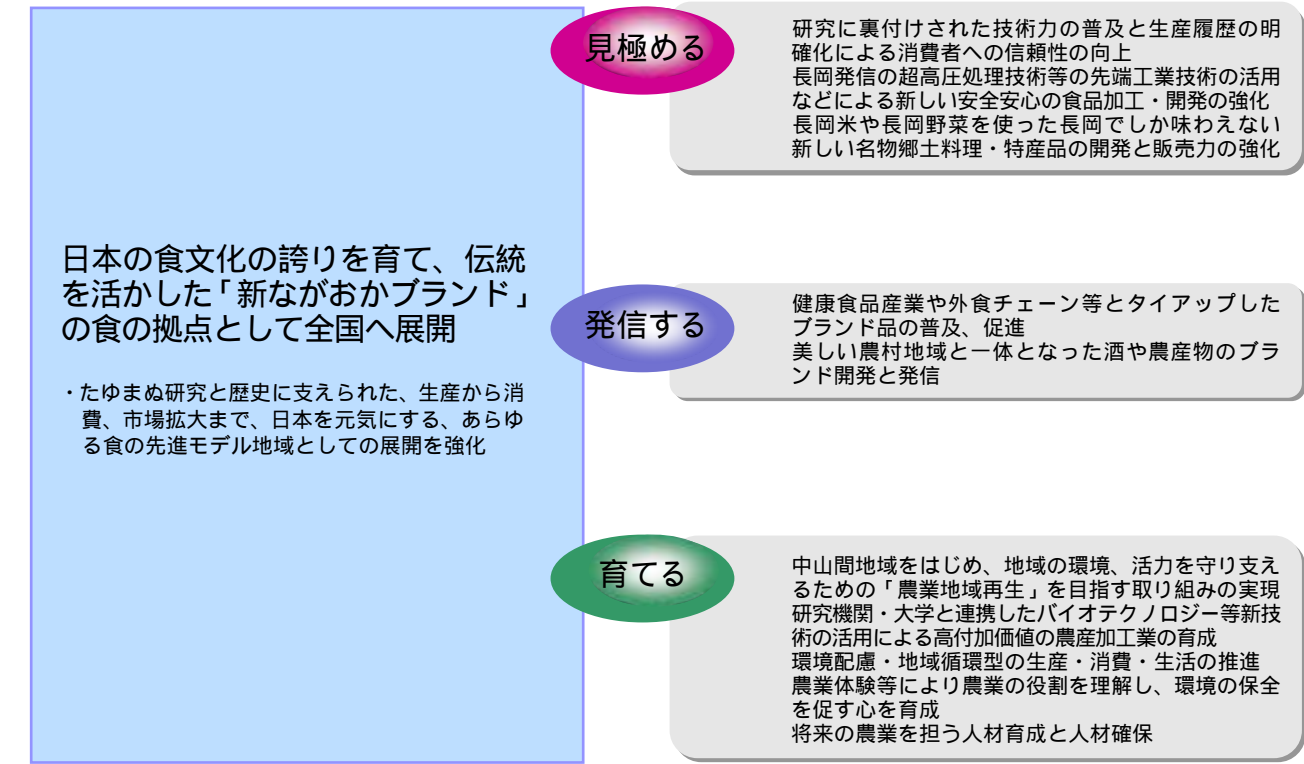
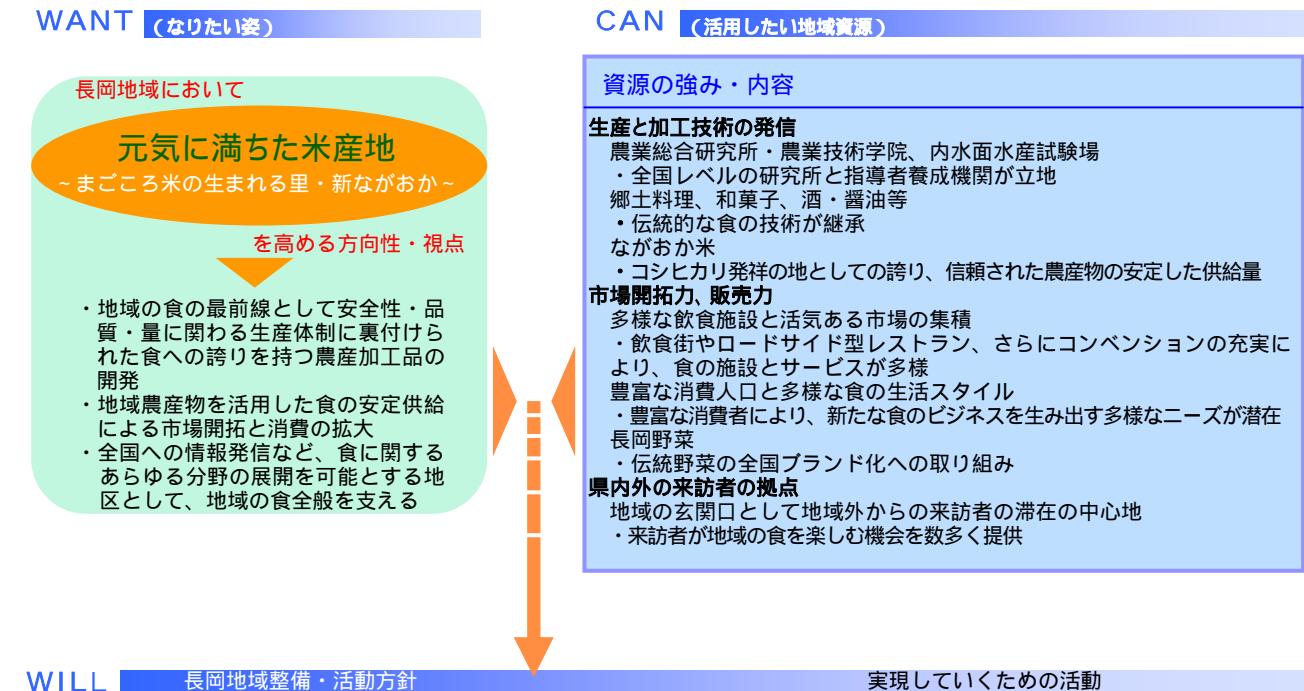


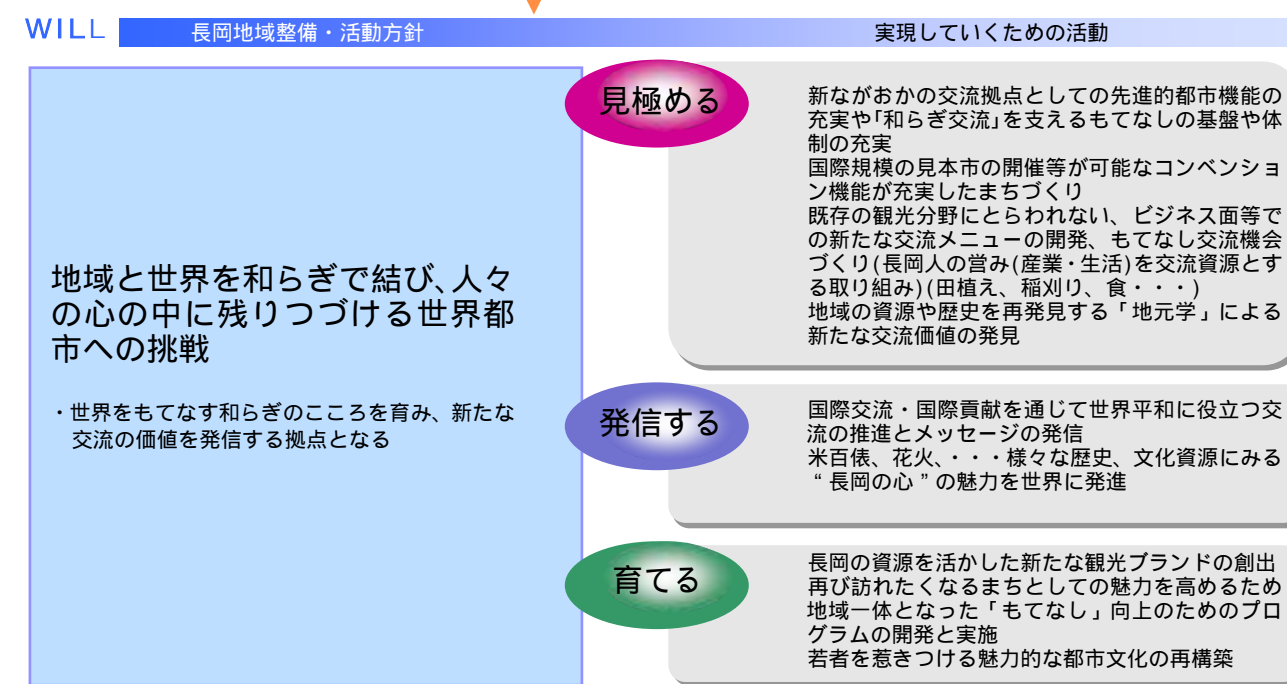
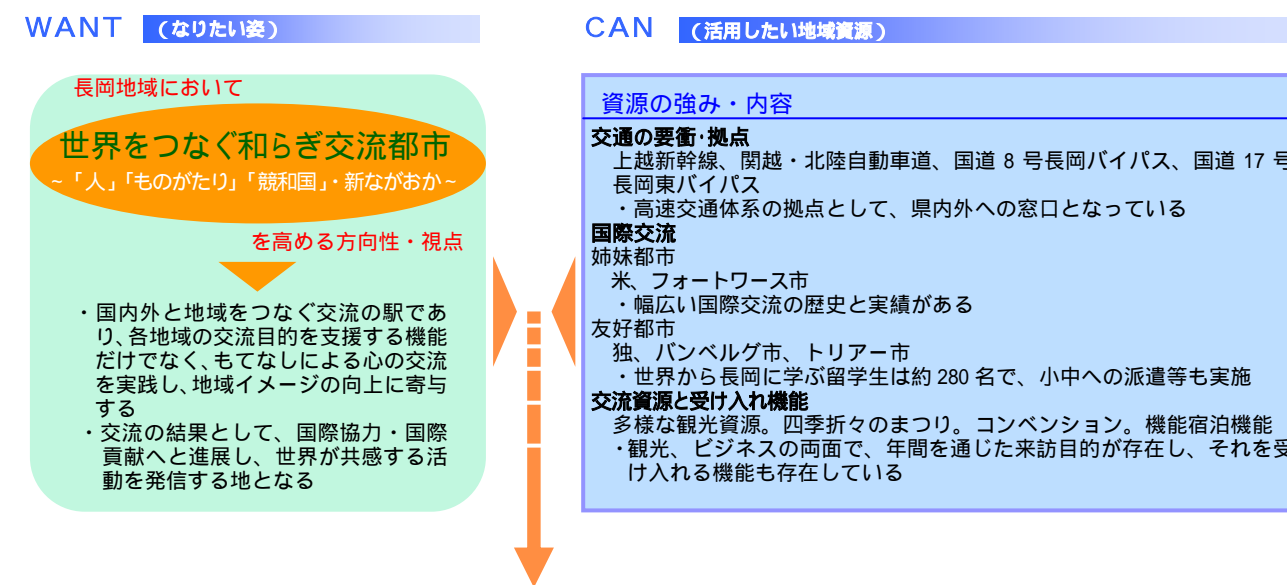
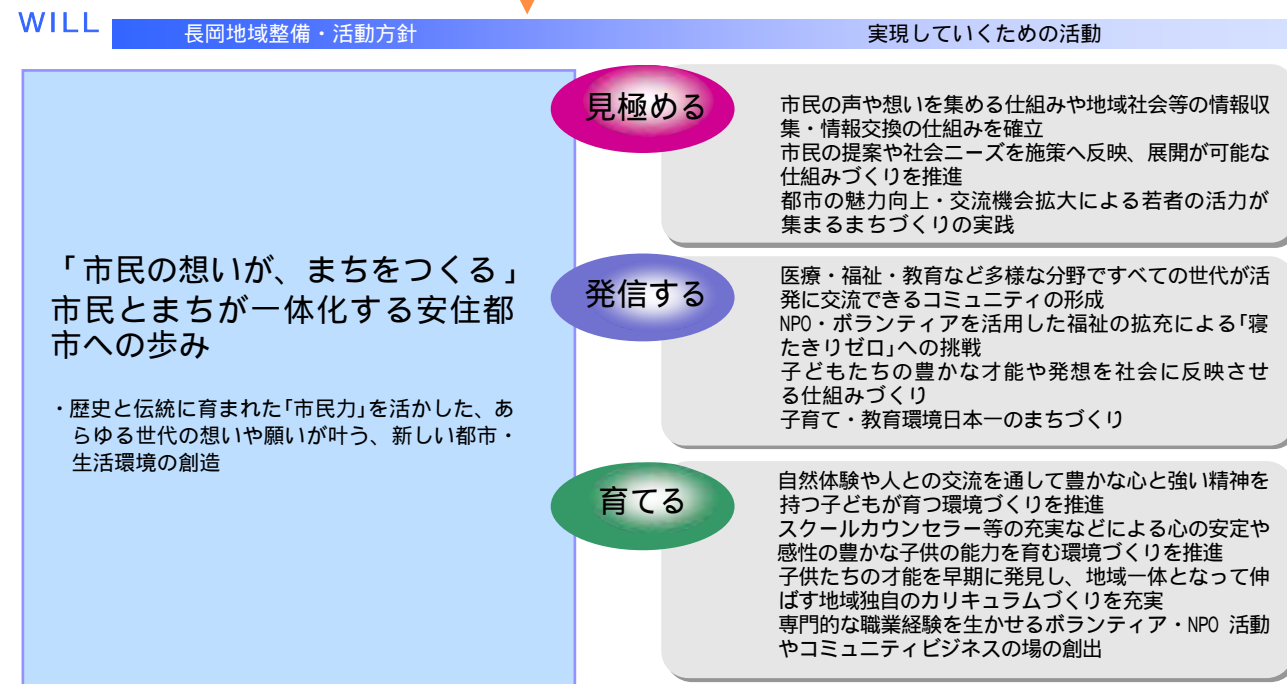
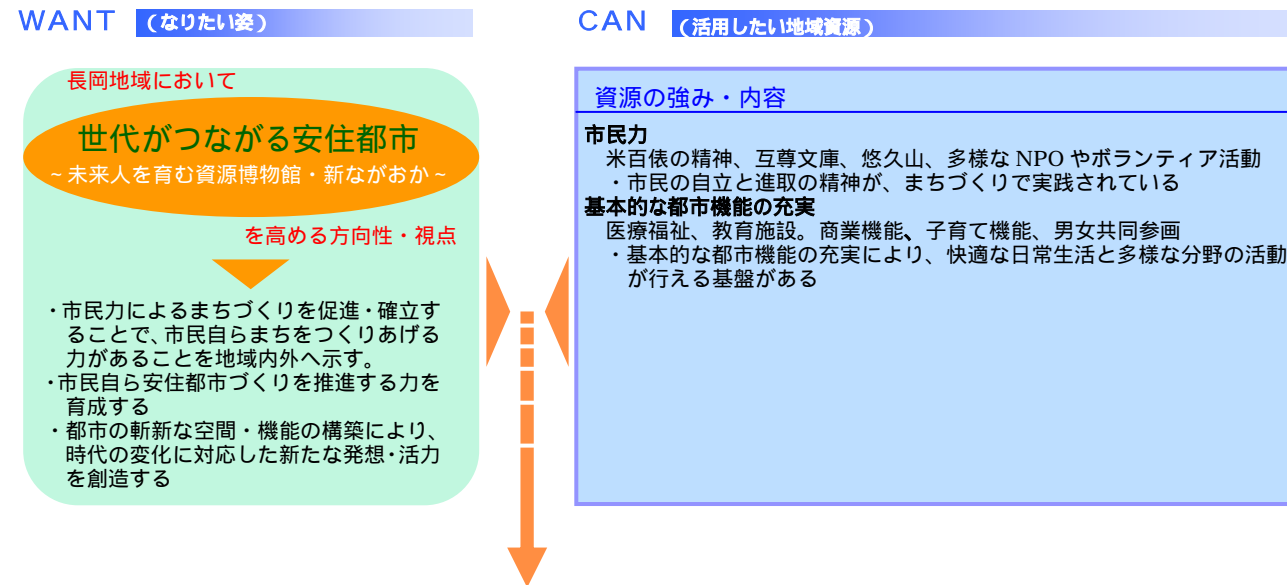
*1 マイスター制度 : 職人の技能・理論を実践と教育で培う制度

*2 21世紀COE : 世界最高水準の大学づくりに向けた、研究教育拠点の形成を支援する事業(文部科学省)

*3 オンリーワン企業 : 他に真似のできない独自の優れた技術を持つ企業

ニッチトップ企業 : 製造業を中心とした特定の製品分野において、全国で高いシェアを獲得している企業





「新市域らしさ価値」を高めるための見附地域の方針と活動

WANT (なりたい姿)

見附地域において

独創企業が生まれ育つ都市
～誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか～

を高める方向性・視点

- ・長岡技術科学大学や長岡造形大学等と既存高度技術集積を生かした産学官連携による先端技術開発
- ・異業種交流による新産業の創出

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

繊維産業
歴史ある総合繊維産業の地として、材料加工からデザイン・最終製品化までの全工程を、地域内で処理
・糸加工から織編・デザイン・染色・縫製までの製造工程が、地域内でパッケージ化されていることで、独自商品の新規開発が、設備・人材の両面で可能
一流ブランドの製品づくり
・確かなデザイン力・技術力を有している
若手企業人の連携の動き
地場産業振興アクションプランが進行中
・一社一ブランド化試み等の企業の連携・新規開発の動き
県工業技術総合研究所
・地場産業の振興プラン実施
・県工業技術総合研究所素材応用技術支援センター立地による連携
県営産業団地
・I C至近で、好立地条件
県中央部に位置
・先端産業の進出
県の産業振興拠点
・企業連携による技術の利用・応用の可能性
見附工業団地
地域外からの多様な企業進出

WILL 見附地域整備・活動方針 実現していくための活動

高度技術・高感性をもつ人材による多様な産業の花が咲くまちの創造

- ・ファッション産業による豊富な技術と他分野産業、研究機関を活かした産学官連携による新ビジネス開発拠点地域となる

見極める 県営産業団地を核とした異業種交流・産学官連携のしくみづくりと拠点機能の創出
環境型新ビジネス、新技術開発への取り組み

発信する 多様な産業の誘致・育成に向けた産業立地優位性のアピール・発信
地域内のファッション産業の核となる拠点づくりの推進による、新ながおかブランドの発信

育てる 多分野のエンジニア交流ネットワーク環境づくり
貸工場など、多様な支援活動による新ビジネスの育成活動

WANT (なりたい姿)

見附地域において

世代がつながる安住都市
～未来人を育む資源博物館・新ながおか～

を高める方向性・視点

- ・予防医療による元気なお年寄り社会
- ・子育てや教育にのっての「おじいちゃん」「おばあちゃん」の役割の重要性

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

いきいき健康づくり推進
筑波大学の指導に基づく個別プログラムによる科学トレーニングの実施
・高齢者の体力年齢が10歳若返る実績あり、指導員体制などのノウハウが確立して、寝たきりの防止や病気の予防に効果を発揮している
「マクロビオティック食事療法」の考え方の導入等食生活改善の地域づくり
・地域で取れる野菜を使うなどの自然食を基本とした健康食事療法で、地産地消とも連動している
医療・福祉の里
市立成人病センター病院、特別養護老人ホーム、老人保健施設、保健福祉センター等の立地(14000坪)
・全ての施設が市街地内にあり、利便性が良いだけでなく、施設が集積化しており、世代間交流が可能な配置となっている
わくわく見附アクションプラン
・子供たちの自主性を尊重するプログラムの実施
世代間交流公園(花・花ランド)の活動
・世代間交流を行いながら緑化・美化を進める「快適空間づくり事業」実施

WILL 見附地域整備・活動方針 実現していくための活動

健康長寿日本一への挑戦と世代間交流先進地域の創造

- ・元気なお年寄りが若者と共々いきいきと暮らせる地域の創造
- ・お年寄りの経験が伝承できるまちの創造

見極める 科学的トレーニング・食事法を活用したすべての世代をつなぐ健康づくりによる、まちの活力向上への展開

発信する 医療・福祉・教育施設の融合による、新たな交流モデルの創出・発信

育てる 子ども達の活動へ高齢者資源(高齢者の持っている豊かな技術・経験・知恵など)を活用することによる、元気なまちづくりの推進
地域住民による歴史・自然・伝統文化を活かした地域社会教育の推進・強化

WANT (なりたい姿)

見附地域において

元気に満ちた米産地
～まごころ米の生まれる里・新ながおか～

を高める方向性・視点

- ・食を通じた農業の魅力づくり
- ・担い手不足の解消を目指した農業の活性化
- ・地産地消の実現

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

安心安全な農産物の生産と環境整備
有機堆肥(民間企業)の土づくりによる有機米・有機野菜の生産の推進
・地域内での高品質かつ安定的な農産物の供給が可能である。
・都市部に消費人口を抱え、生産消費循環を地域内で進めることが可能である
恵まれた水利
少ない降雪によって通年でのハウス栽培が可能(通年就農可能)
大規模圃場推進による農業経営合理化
「食」による健康づくり地域
マクロビオティック食事療法の導入等による食生活の改善と地域健康づくり
・健康づくりの観点から食生活の改善を通じて、有機食材の消費拡大・地産地消の推進ができ、消費側からの農業活性化の推進が可能である

WILL 見附地域整備・活動方針 実現していくための活動

健康に満ち溢れた農産地の創造

- ・「食」「生産」「人材」「消費者の食の安全性」の視点を生かした健康農業地域づくり

見極める 流通経路の開拓による、有機食材の安定供給・定量消費の促進

発信する 「健康」という付加価値をつけた食生活(食材～食事)の創造・発信

育てる 安心・安全な食を目指し新たな生産技術導入による農業の活性化

WANT (なりたい姿)

見附地域において

世界をつなぐ和らぎ交流都市
～「人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか～

を高める方向性・視点

- ・ホームステイ事業のノウハウを活用した民泊の推進
- ・産業面や文化面等の多分野を通じた幅広い交流活動展開の可能性
- ・特に国際交流(受け入れ)のチャンネルの活用が期待できる

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

県の重心地
・県内偏りなく、集まることができる地域
中之島・見附I C
・交通の利便性が高い
国際交流(早稲田・オレゴンプログラム)
早稲田大学による留学生のホームステイ事業。“地方都市体験”部門を見附で実施。年間15～20人程度の受け入れ実績
・完全ボランティアで実施されており、後の市民交流も盛ん。まとまった人数の受け入れ体制のとれる都市が少ない。ノウハウが確立している
ニッまつり
春秋年2回開催の産業まつり。ブランドラベルの付かない製品を超低価格で提供。10年以上の実績
・毎回県内外からお客を集めている。人気が高く、常設希望が多い
大風合戦
350年以上の伝統と歴史のある行事
・日本中の風仲間が集うまつり。越後六角会などヨーロッパに出での活動、早稲田大学の参加など交流のチャンネルが広い

WILL 見附地域整備・活動方針 実現していくための活動

「新ながおか・北の玄関口」として産業と伝統の環で結ぶ交流拠点の創造

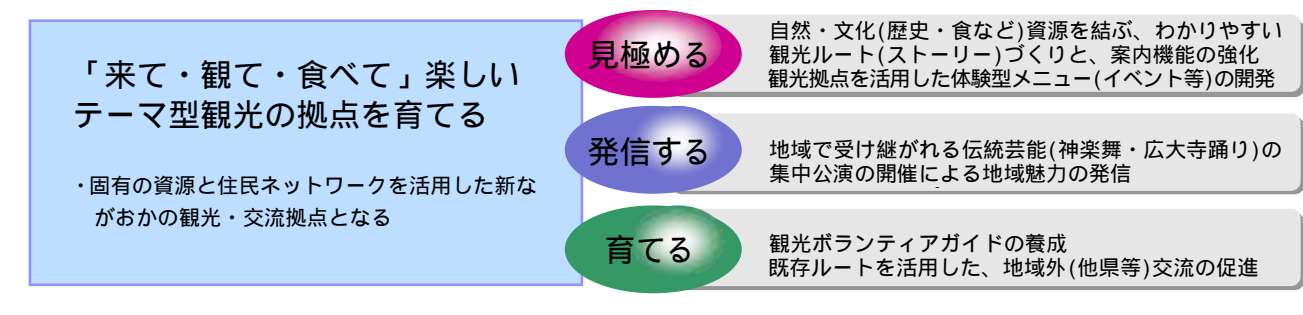
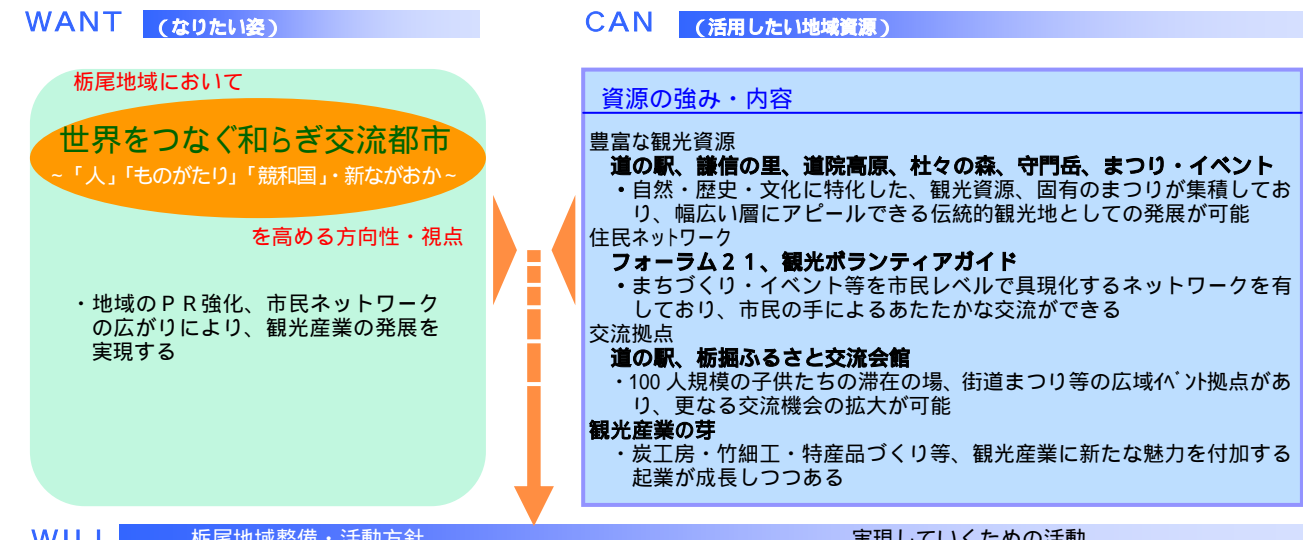
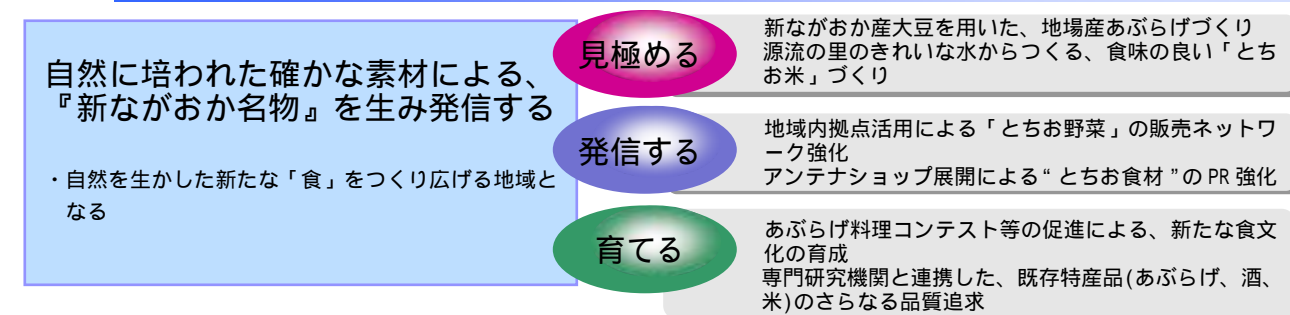
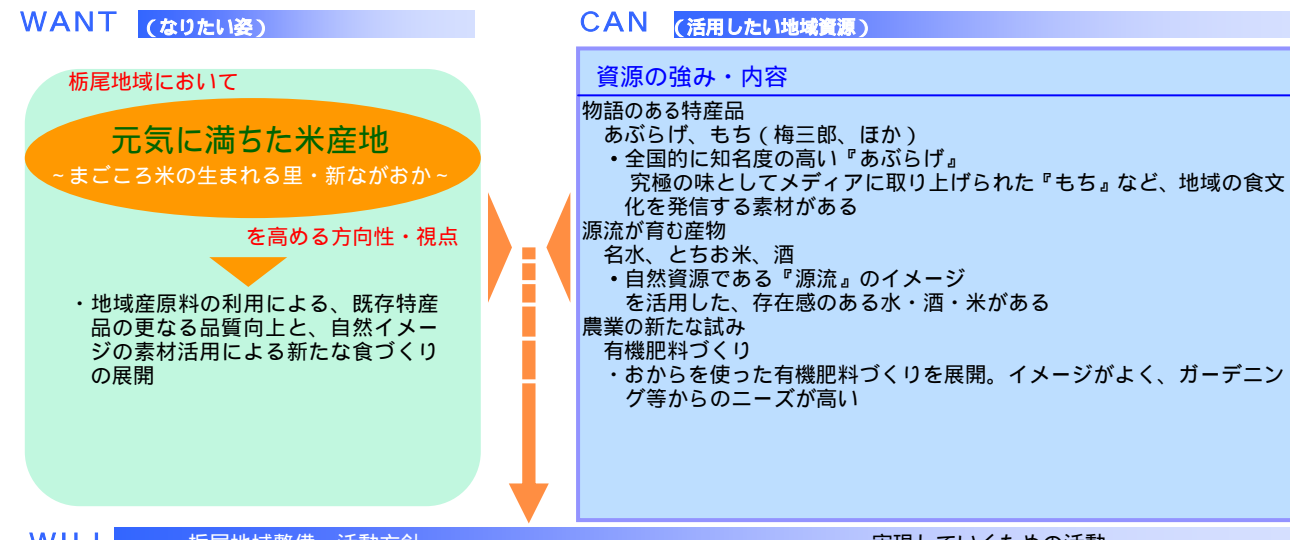
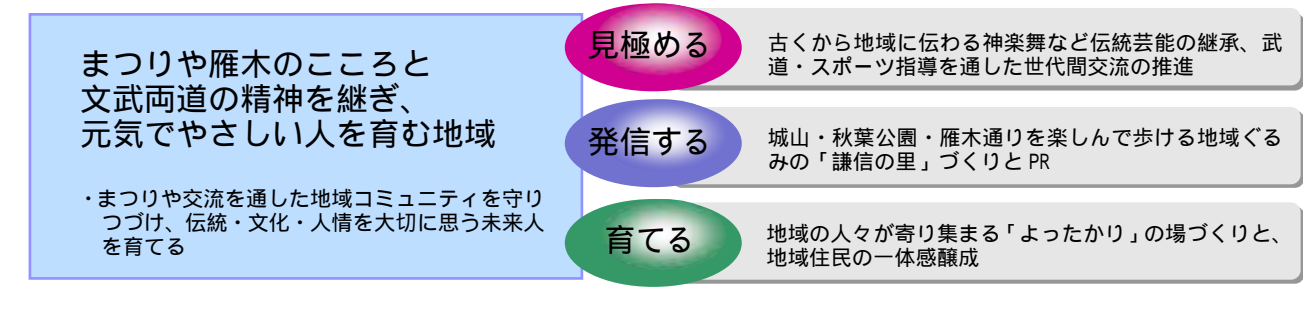
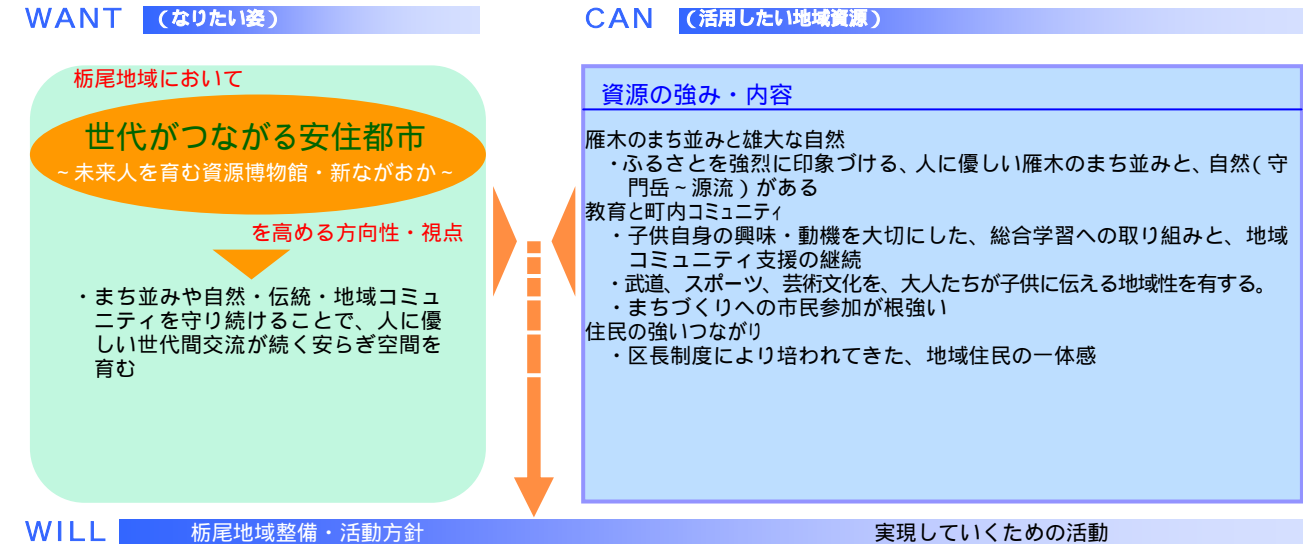
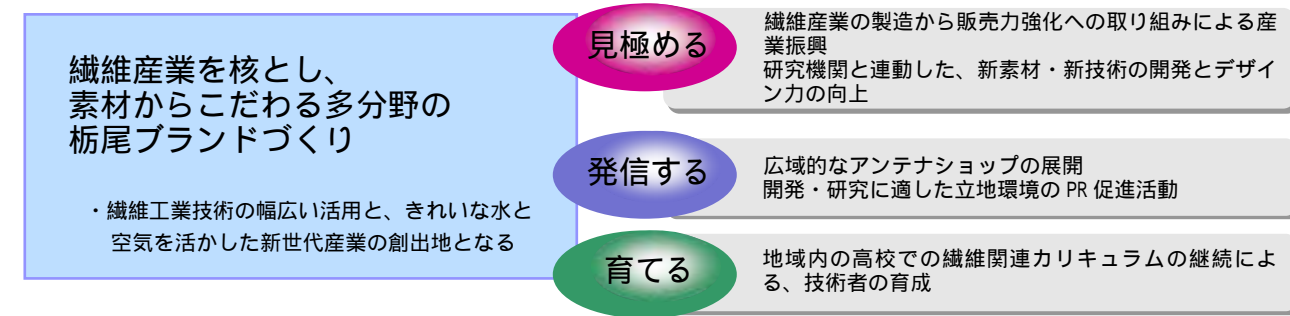
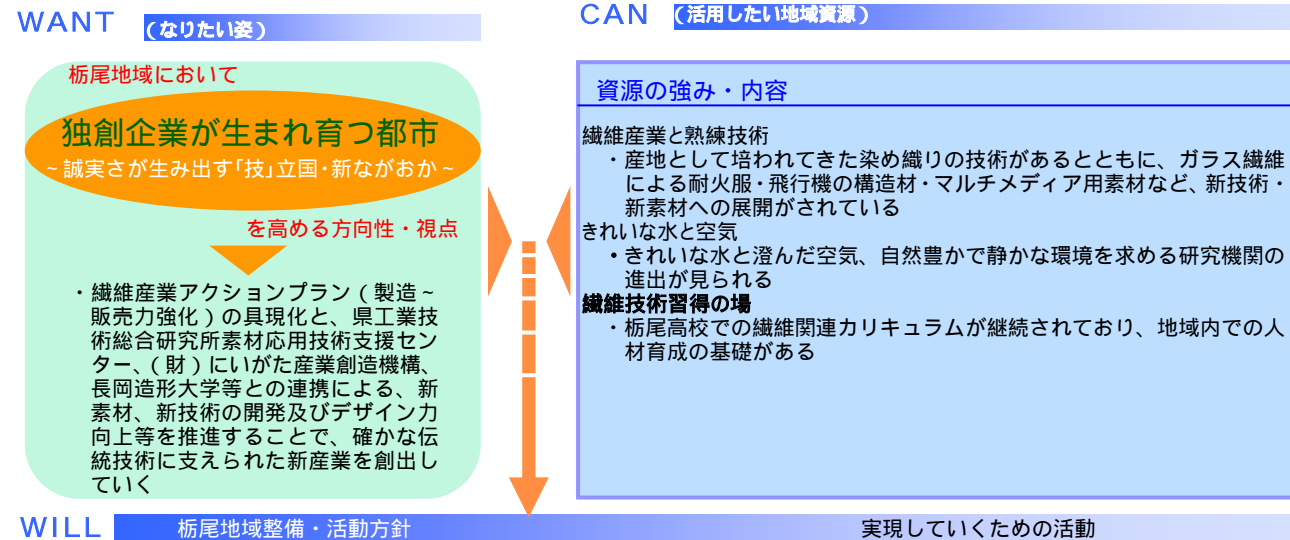
- ・他地域の資源と連携した広域観光ネットワーク
- ・これまでの交流実績を活用した和らぎ交流の実践地域

見極める ホームステイのノウハウを活用した、市民レベルでの国際交流促進

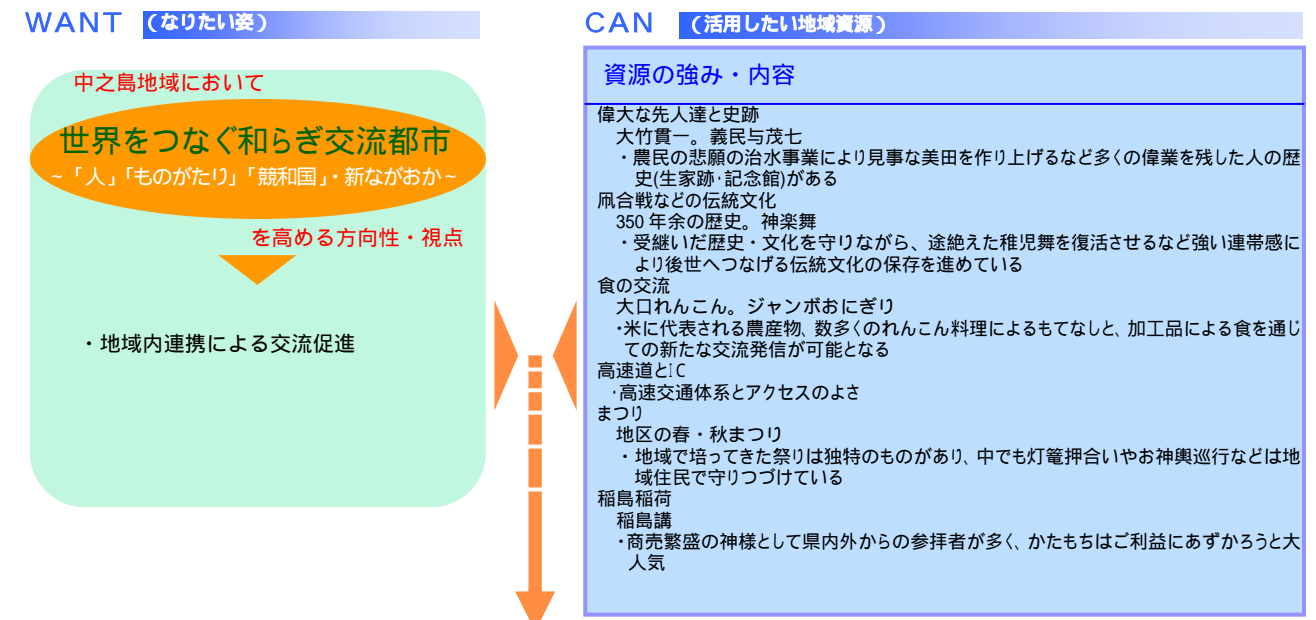
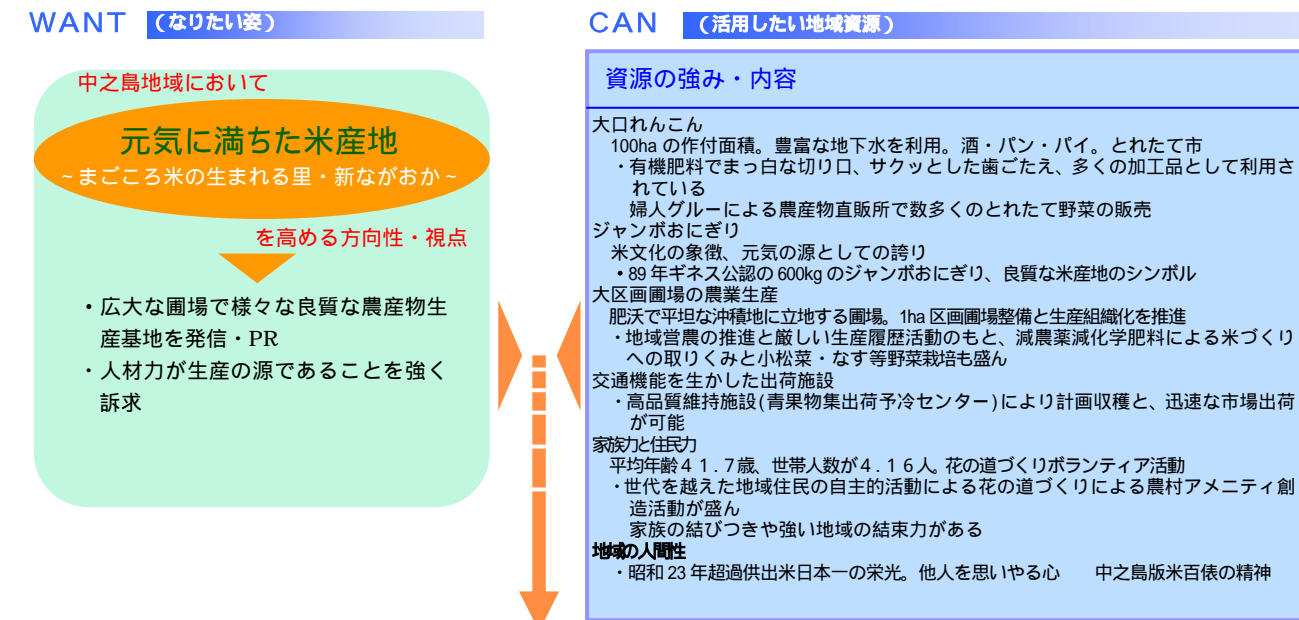
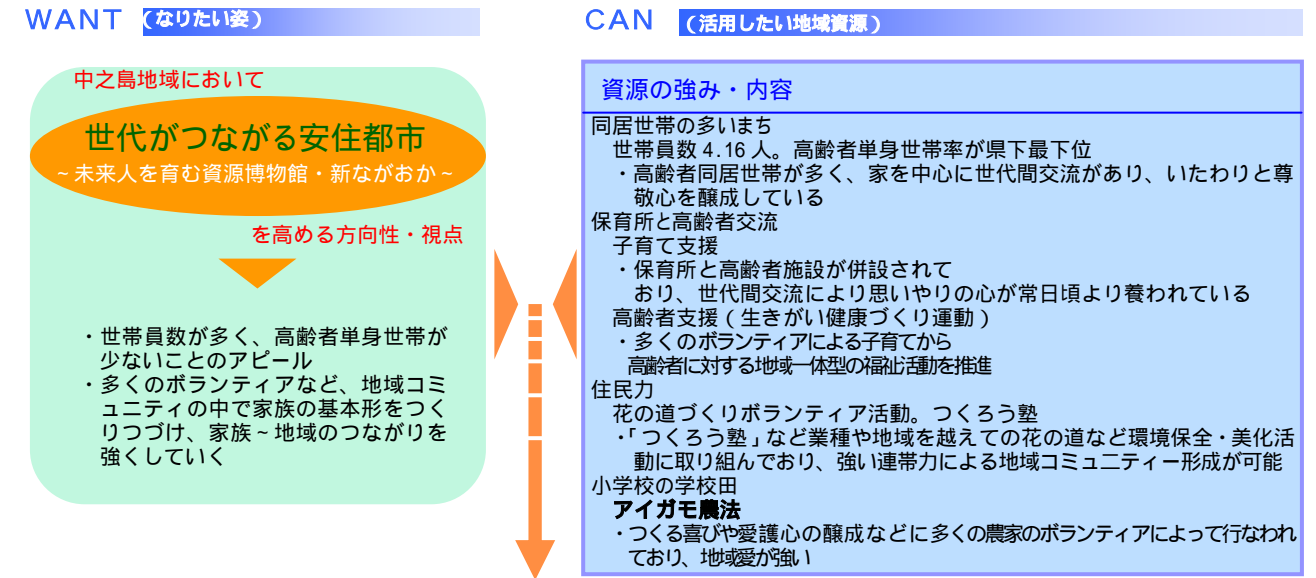
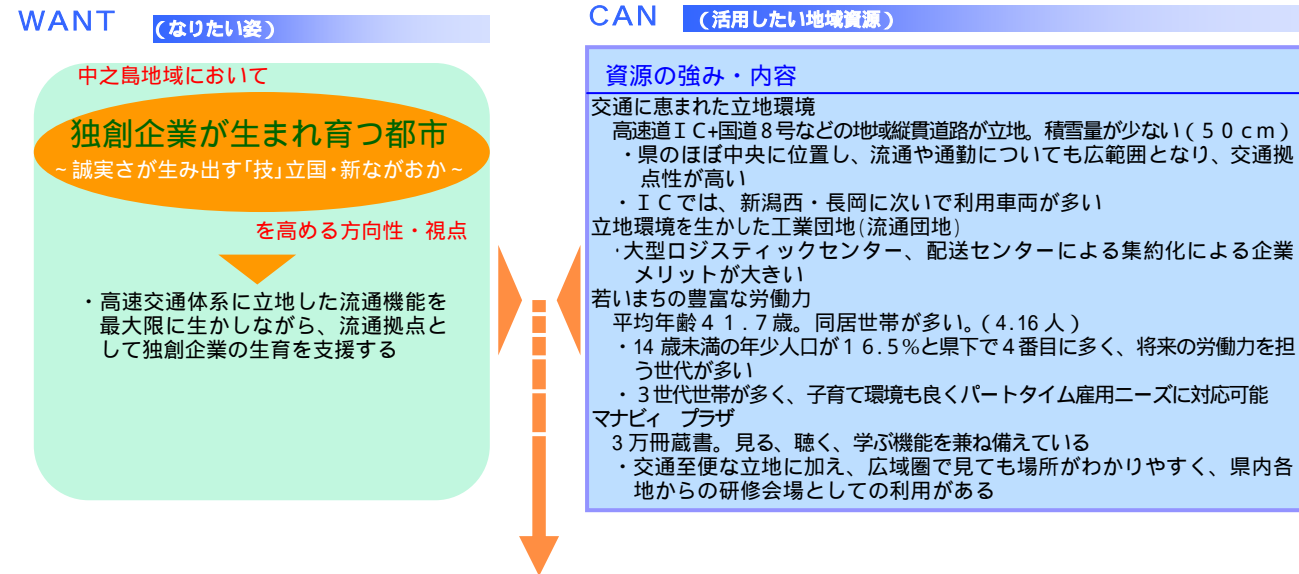
発信する ファッション産業を軸にした、新ながおかの産業観光*の拠点としての機能強化・発信
*産業観光：これまでの観光資源とは異なり、様々な産業を観光面での切り口として開発

育てる 新ながおかを訪れる人々が魅力を感じる特産品(産業観光の視点を重視)を提供していく体制と拠点づくり

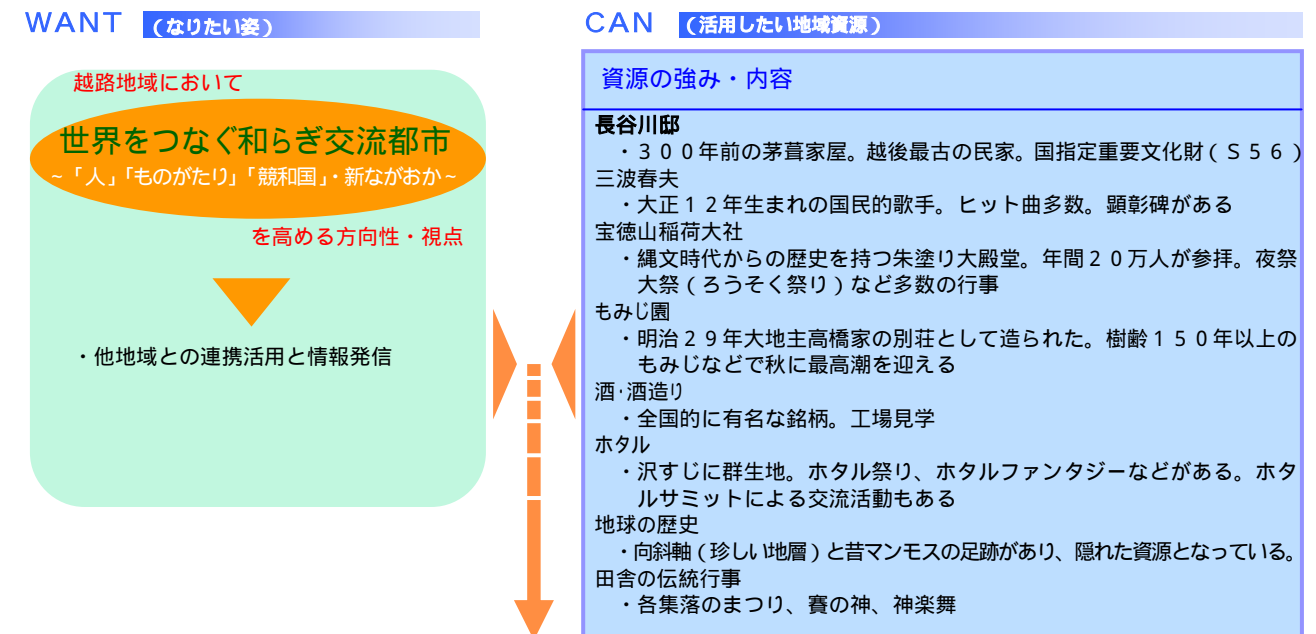
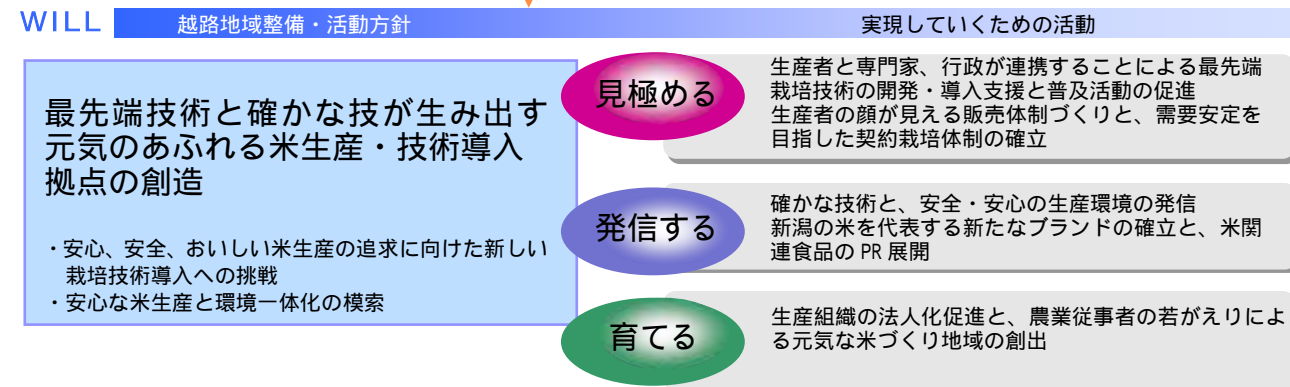
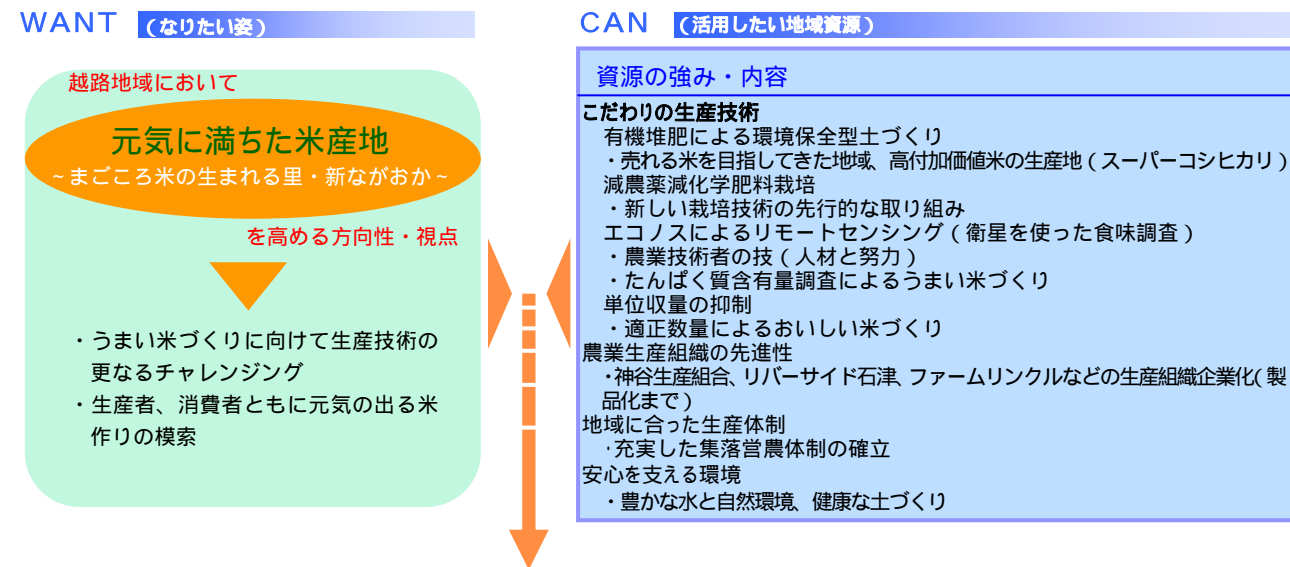
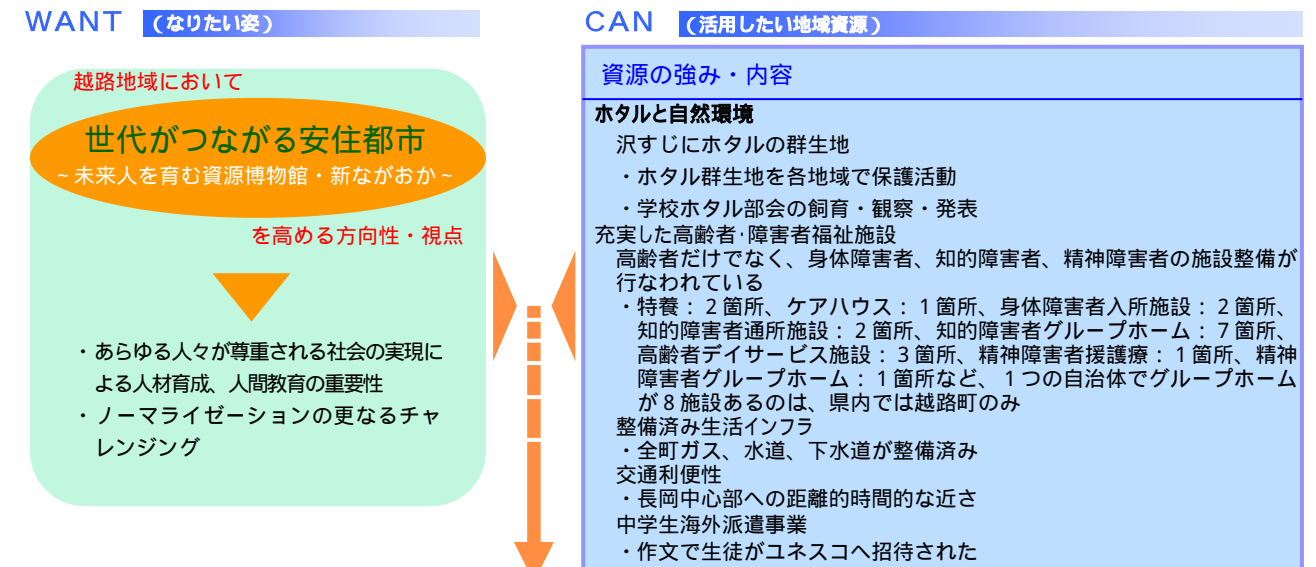
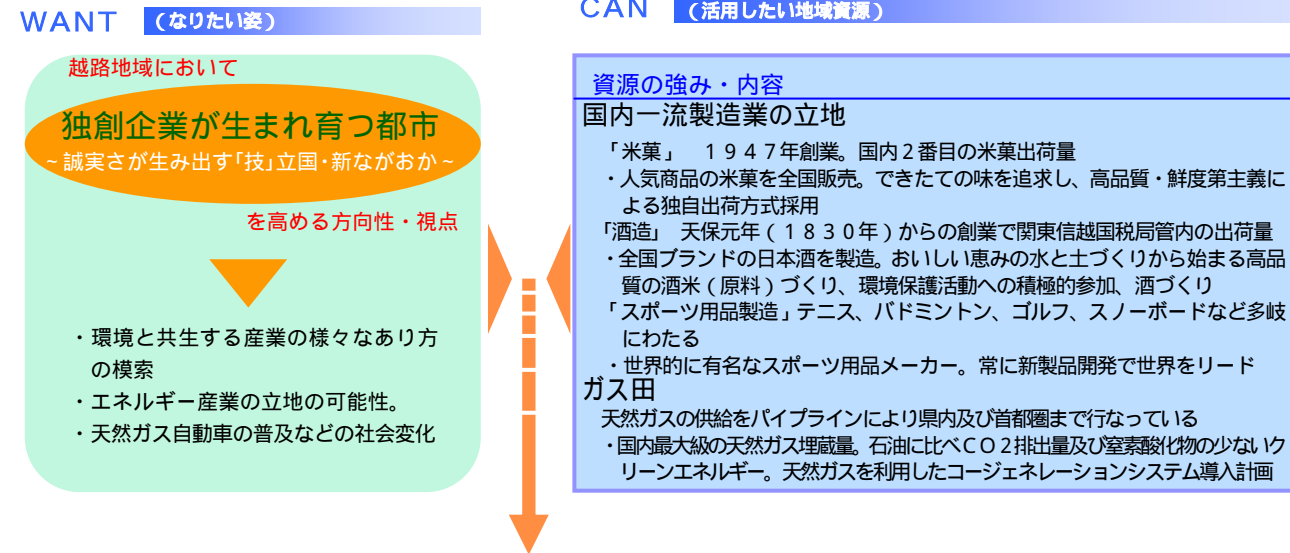
「新市域らしさ価値」を高めていくための栃尾地域の方針と活動



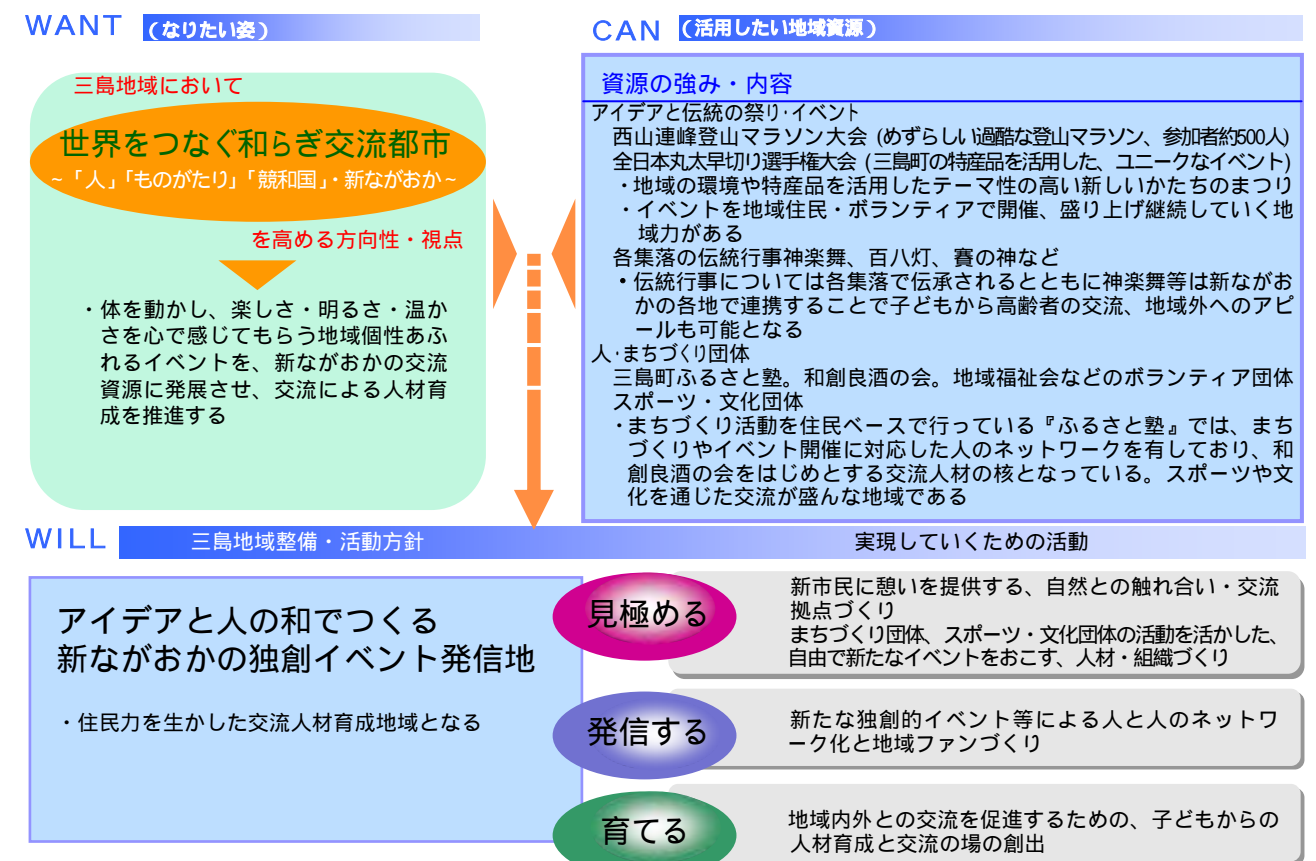
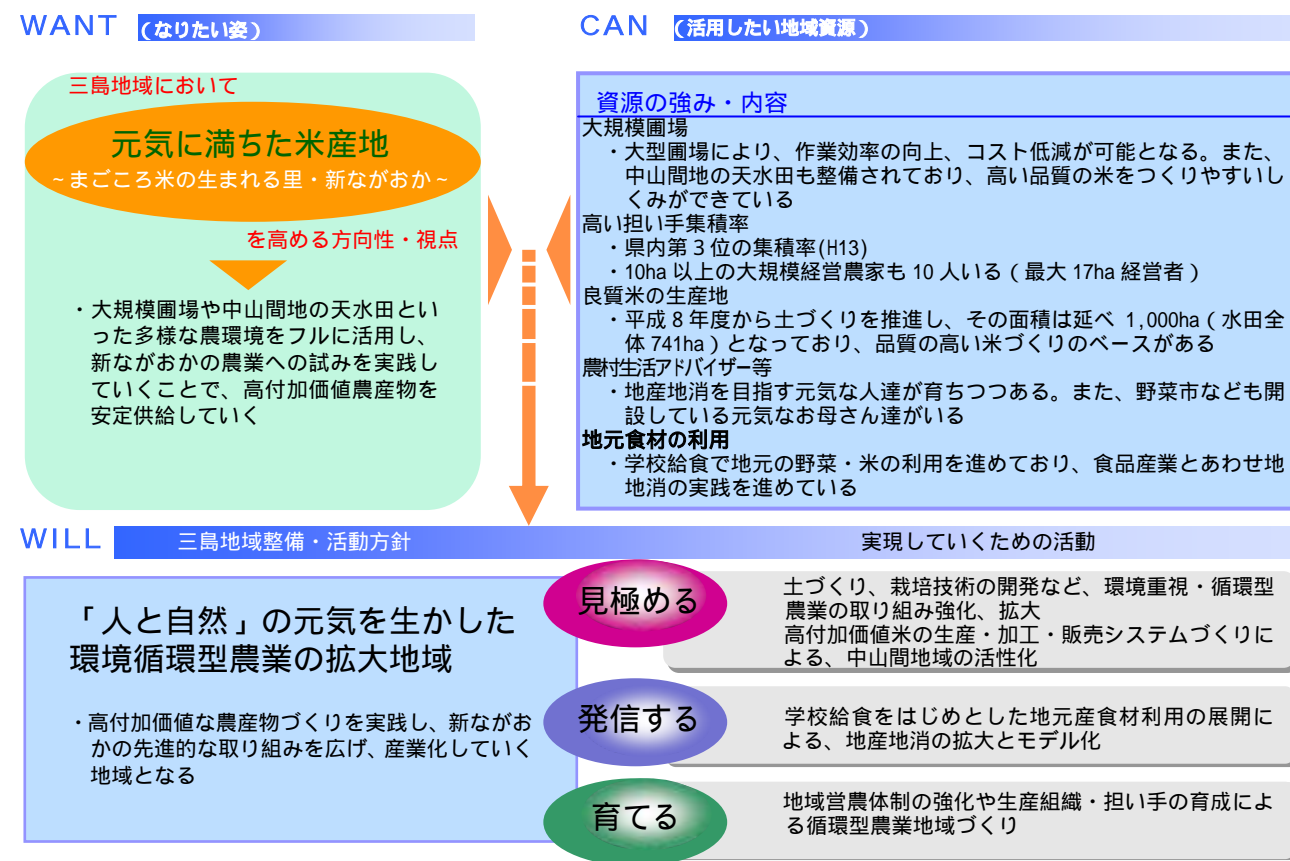
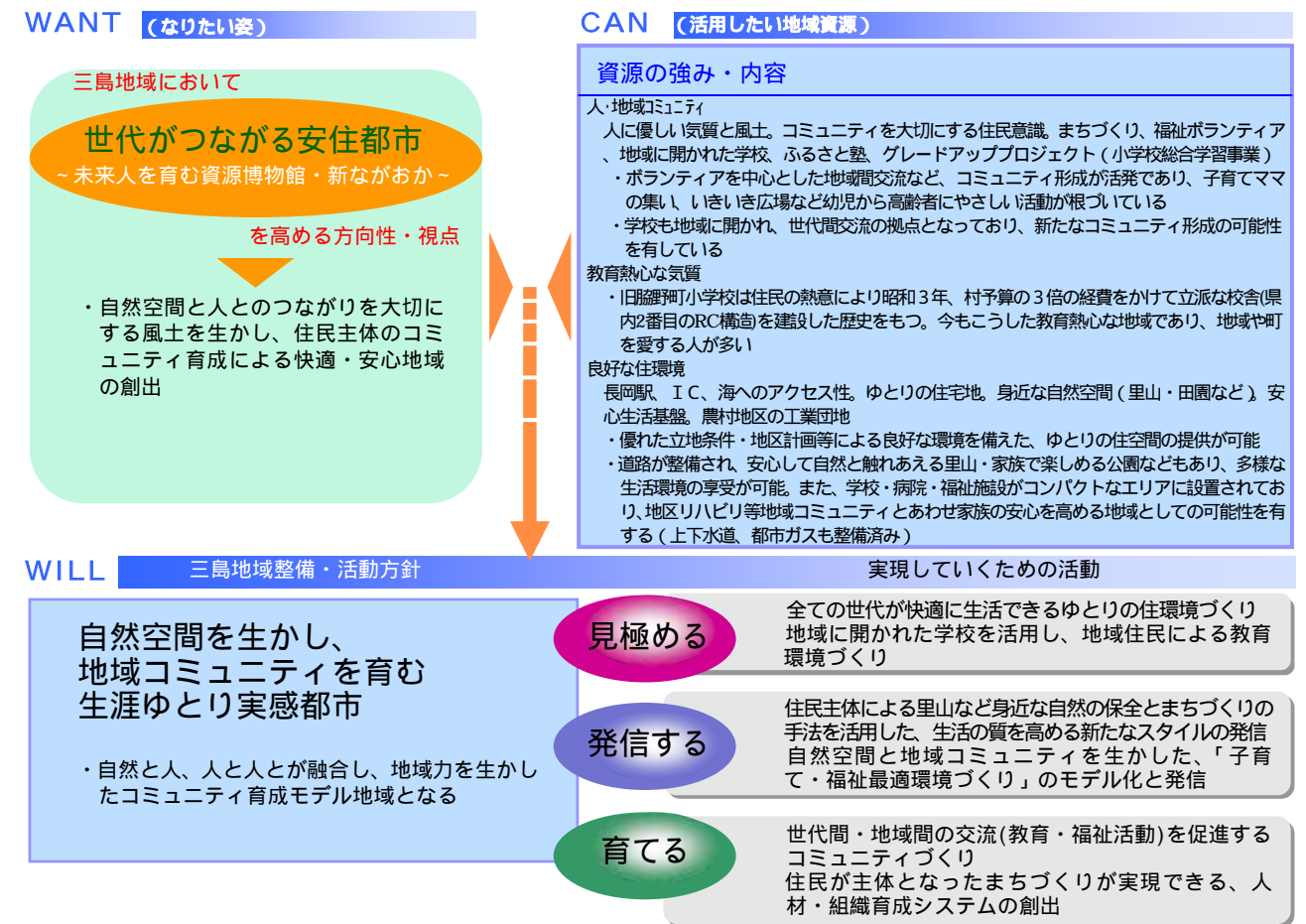
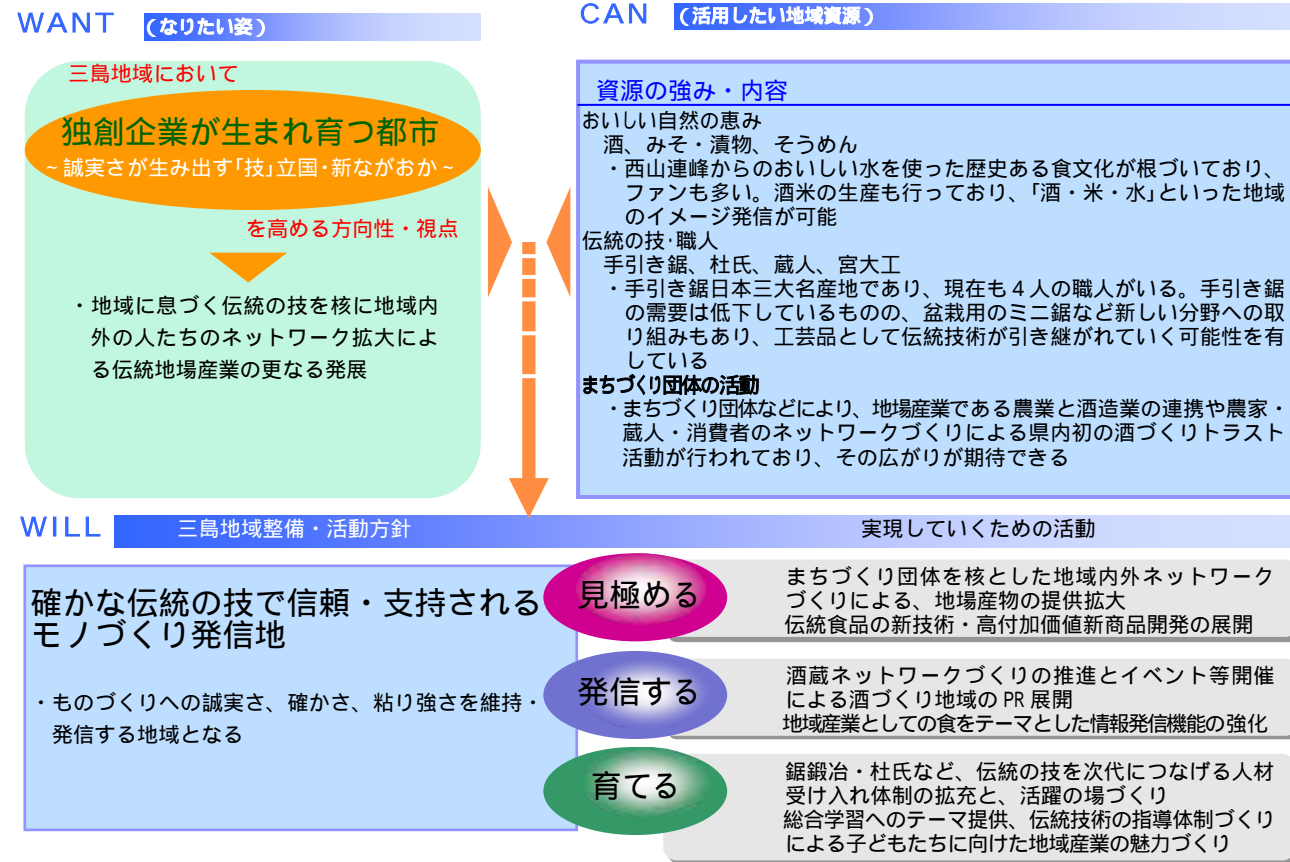
「新市域らしさ価値」を高めていくための中之島地域の方針と活動



「新市域らしさ価値」を上げていくための越路地域の方針と活動



「新市域らしさ価値」を高めていくための三島地域の方針と活動



「新市域らしさ価値」を上げていくための山古志地域の方針と活動

WANT (なりたい姿)

山古志地域において

独創企業が生まれ育つ都市
~ 誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか ~

を高める方向性・視点

- ・固有の技や誠実さの歴史を守り、伝えていくことで地域住民のこだわりの技への取り組みを広くアピールする
- ・独創の精神に触れる場として、また、圧倒的な自然を通して分野にこだわらない新ながおかの独創企業人の育成を支援していく

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

錦鯉
錦鯉生産者 185 世帯、総養殖面積 136ha、止水式溜池養殖(棚池)
・錦鯉発祥の地であり 200 年の実績に裏付けられた固有の伝統産業
・棚池の景観
・こだわりの生産技術で世界的知名度が高い
・約 50 世帯が専業であり、棚池とのかかわりからも地域の独創を象徴する産物といえる

天水田自然乾燥コシヒカリ
約 165ha のうち 30ha が自然乾燥のはざかけ米
・天水田(汚染のない自然水)と自然乾燥(はざかけで日光に当てると糖度が増す)によりつくられるまぼろしのコシヒカリ
・棚田の景観美は国の宝として農地保全の支援を受けている

手掘り中山隧道
・村民の不屈の精神が生み出した日本一の手掘り隧道
・生活・命をかけた業は、多くの人の共感を受けている(全国約 1,900 名の基金支援者)

WILL 山古志地域整備・活動方針 実現していくための活動

自然美、人間美から生まれる究極ブランドを守り、育て、独創企業に提供していく地域

- ・新ながおかのものづくりに対する“独創性”を歴史・伝統で裏付け、自然環境を活用し支援する地域となる

見極める 伝統の技に科学技術を付加した究極の山古志ブランドづくり
原産地(錦鯉)で培われた育てる・見極める技術の継承と産業化への活用

発信する 山古志ブランドの多様なジャンル(写真・音楽...)でのプロモーション展開
自然・人間がつくってきた独創地域のものがたりづくりと、全国への発信

育てる 自然体験を活用した、企業人育成プログラムの開発

WANT (なりたい姿)

山古志地域において

世代が繋がる安住都市
~ 未来人を育む資源博物館・新ながおか ~

を高める方向性・視点

- ・自然と融合した生活、伝統を守り、未来人に伝えていく

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

特徴ある自然景観・棚田
耕作地 100 パーセント棚田
・村内全域が棚田という他地域にない特徴ある生活・自然景観
・景観美の知名度は高く、文化庁による農村の文化的景観重要地域の指定を受けている
・日本景観学会現地研修会会場にもなっており、学術的にも評価が高い
・1軒1水源という固有の水とのかかわりを持つ
都会では見られない生き物たち
・棚田・棚池では、クロメダカ・タガメ・ゲンゴロウなどが生きる固有の生活行事
・牛の角突き、賽の神など、住民が熱くなる感動がある

WILL 山古志地域整備・活動方針 実現していくための活動

未来人を育む地域全体フィールドミュージアムの創出

- ・生活から生まれた圧倒的な自然と燃え上がる体験を通して、未来人の感性を育む地域

見極める フィールドミュージアムを構成する資源、歴史、伝統を守り育てていく活動の促進

発信する 固有の景観や生活行事を守りつづけるネットワークづくりと発信

育てる 未来人の心を育てる、大人たちを含めた自然体験学習プログラムの開発

WANT (なりたい姿)

山古志地域において

元気に満ちた米産地
~ まごころ米の生まれる里・新ながおか ~

を高める方向性・視点

- ・耕作地 100 パーセントの棚田・棚池を保全し、こだわりの食を発信する
- ・地域を訪れた人が享受できる仕組みづくり
- ・体験型の米産地としての地域づくりを進める

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

天水田自然乾燥コシヒカリ
約 165ha のうち 30ha が自然乾燥のはざかけ米
・天水田(汚染のない自然水)と自然乾燥(はざかけで日光に当てると糖度が増す)によりつくられるまぼろしのコシヒカリ
・棚田の景観美は国の宝として農地保全の支援を受けている

かぐら南ばん
形はピーマンで食すると辛い
・山古志村の土質、気候が生み出す独特の辛味がある
生産高が急成長
・加工品への需要も高い

WILL 山古志地域整備・活動方針 実現していくための活動

自然にいだかれた技と人の汗が創り出す、安心安全食の体験地域(来て、見て、食べて)

- ・伝統の食づくりを守り続け、人々に感動を与える地域イメージ発信地となる

見極める 山古志“食”ブランドの確立によるファンの獲得と、棚田保全への展開(オーナー制度、特区制度など)

発信する 棚田・はざかけ等、農山村の原風景保全と PR 展開
雪中貯蔵技術の活用による、新たな魅力食の提供

育てる 農業体験プログラム開発と地域体制づくり

WANT (なりたい姿)

山古志地域において

世界をつなぐ和らぎ交流都市
~ 「人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか ~

を高める方向性・視点

- ・地域の環境・伝統を守りつづけ、共感を持ちリピーターの裾野を広げていく
- ・オフシーズンも含めた地域住民とのおだやかな交流を展開する

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

体験交流
・県内大学留学生の山村生活体験や小学生の雪中キャンプが行われる
一石会
・全国的に活動する酒飲み会への場の提供を行っている

錦鯉による交流
・県内での稚魚の放流(子ども)
・品評会の来訪者(リピーター)

牛の角突き
・1000 年の歴史を持つ住民による生活の中で生まれた行事
・牛の角突きは国指定重要無形民俗文化財に指定されている

棚田
・棚田は文化庁指定農村の文化的景観重要地域

村の人々
・豪雪地で住み続ける粘り強く、素朴な人々

WILL 山古志地域整備・活動方針 実現していくための活動

何度でも来たくなる“こころ”和らぐ資源特別区

- ・都会の生活では触れることのできない原風景や文化、伝統を伝える地域となる

見極める 様々な地域資源が一体となった山村文化のブランド化
様々な分野の交流による新たな交流資源の発掘活動

発信する 山村・雪国生活の多角的な発信

育てる 人材・情報ネットワーク活用により、地域の人たちが地域資源の価値について理解を深め、来訪者に提供する「もてなしのこころ」の育成

「新市地域らしさ価値」を高めていくための小国地域の方針と活動

WANT (なりたい姿)

小国地域において

独創企業が生まれ育つ都市
～誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか～

を高める方向性・視点

- ・独自技術へのこだわりが新たな価値を産み、新たな事業(商品)へと展開していくことを具現化することで、独創企業が生育可能な地域であることを内外にPRする

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

小国和紙
300年以上の歴史を持ち、その製造工程が無形文化財の記録選択に指定されており、小国和紙生産組合が伝統技術を守っている
・希少性・高品質を活かした商品への展開
あたたかみのあるランプシェードなどの和紙製品の他、日本酒のラベルや書道、版画用紙などが生産されている
・伝統技術を学ぶために学生や職人希望者が研修に来ており、独自技術の発信が行われている
雪を巧みに利用した製法で、使えば使うほど白くなる

小国ログ
ログハウスを中心としたベンチなどログ製品の設計、製造、販売で好評を得ている
・曲線を用いたカットング方法と気密性の高い加工技術によるやわらかみのある製品
・優れた加工技術による間伐材の有効活用

WILL 小国地域整備・活動方針 実現していくための活動

伝統技術の継承と独自技術を活かしたこだわりの里づくり

- ・小国和紙等の伝統技術や独自技術の継承および発信により、後世に残るものを生み出す技術へのこだわりを誇りを持ち、高付加価値化を実現する

見極める 大学・研究機関との連携による、小国和紙の研究と新たな製品化への取り組み
小国和紙・ログの新たな販路開拓

発信する 小国和紙・ログなど、地球にやさしい技術のシンポジウムやサミットの開催
伝統技術を活用した、ものづくりに関わる一連の体験・教育プログラムづくり

育てる 伝統技術を継承するための人材受け入れ体制の強化
環境優先型社会を伝える、指導者の養成

WANT (なりたい姿)

小国地域において

世代がつながる安住都市
～未来人を育む資源博物館・新ながおか～

を高める方向性・視点

- ・集落単位の顔の見えるコミュニティでの地域づくりを通じて世代間交流を活性化し、日常生活の中で自らが考え行動する未来人を育むために貢献することを示す。
- ・子供から老人まで、健康者から障害者まで、ともに役割を持ち、元気で支えあう地域づくり

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

地域づくりコミュニティ
集落活動計画と一集落一事業
・各世代(こども～お年寄り)が集落の良い点悪い点を話し合って計画づくりを行う(行政もサポート)
・住民自らが生活環境づくりを行う
・集落が1つの活動単位となっている

福祉コミュニティ
多様なボランティア活動
・地域の中で、支える人支えられる人が、ともに生きがいを持てる活動
生き生きサロン(19地区)
福祉ボランティア登録者(実数350名延530名)
学校支援ボランティア(39名)
生涯学習活動人材バンク(40名)

食生活改善推進委員
・食を通した健康づくり
・食の伝統文化を次世代に教え伝える活動

予防医療の推進
・健康に対する意識改革により検診受診率の向上やウォーキングなどの運動が活発化

しづみ工房
・3障害者(身体、知的、精神)がともに働ける通所授産施設

WILL 小国地域整備・活動方針 実現していくための活動

元気で支えあう気持ちを育み 全ての人にやさしい里づくり

- ・日常的な支えあいや世代間交流を通じて、生活の中で自らが考え行動する未来人を育む

見極める 集落活動の連携による防犯体制の一層の充実
21世紀の新しい食をテーマとした健康づくりの実践

発信する “健康イベント”開催による、地域の魅力をアピール
農村の良さを伝える広報・情報発信の強化

育てる 高齢者の経験・知識を地域コミュニティで発掘・継承する健康な里づくり
地域ボランティアの組織づくりと活動支援によるリーダー(予防医療等生活専門員)の養成

WANT (なりたい姿)

小国地域において

元気に満ちた米産地
～まごころ米の生まれる里・新ながおか～

を高める方向性・視点

- ・グリーンツーリズムなどの活動を利用しながら、農業体験だけでなく、「現地で体感するおいしくて特徴ある食」を提供することにより、地域の魅力向上および活性化へ寄与する

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

八石米
盆地と渋海川から生まれた良食味米
・小国でのコシヒカリづくりの土専用の有機肥料を使った減栽培によるおいしい米づくり

八石なす
皮のやわらかい特徴を持つ丸ナス
・歯ざわり感が良く、郷愁を誘う味と評判で、安全安心でおいしい漬物
・町内で生産・加工・販売

雪国ぎんなん
昔から町内で生産されてきた3種類の大型種を町内に広め団地化
・独自ブランド製品の製造販売の他、表皮の肥料としての利用や、防虫効果の活用など新たな展開を模索中

グリーンリース圃場
県事業で整備した以外にも独自に実施している集落もある
・生産者の顔が見える安心の食の提供や、農業体験による“新たな発見”の提供

WILL 小国地域整備・活動方針 実現していくための活動

安全で味にこだわる 食の里づくり

- ・おいしくて特徴のある食の生産・発信地としての発展

見極める 土づくりからはじめる安心安全なこだわり食材(米・なす・ぎんなんなど)の生産と製品開発の促進
体験型農業の推進による農村生活理解活動の推進

発信する 安全な食材の作り方から食べ方までを発信する
“トータル食学校”の創設
こだわりの食を体験できる「小国御膳」の開発と、もてなし体制づくり

育てる 安全な食を販売する人材の育成
ぎんなん生産量日本一への取り組み

WANT (なりたい姿)

小国地域において

世界をつなぐ和らぎ交流都市
～「人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか～

を高める方向性・視点

- ・へんなかツーリズム事業は、各所の魅力を連携させて魅力の向上と創造を図る体験型交流への取り組みを実践するものであり、新市で取り組む地域内連携のモデルとして期待される

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

都市との交流
武蔵野市と友好市町村共同のアンテナショップ
・友好都市の武蔵野市とは通年で交流
・武蔵野市民の愛蔵書を預かる小国町愛蔵書センター取り組み
新潟大学の支援
・地域をあげての取り組み、学生との交流も行われている

町をあげてもてなす、へんなかツーリズム事業
歴史ロマンの隠れ里まつり
・町民ボランティア500名、歴史愛好家など全国から集まる
四季を通したまつり
・雪上エンデュロ大会、巫女節踊り

緑豊かな自然
・越後おぐに森林公園、自然の家やまびこ、小国芸術村等恵まれた自然の中で長期滞在が可能な体験施設がある

多様な交流施設
なじょらい市
農村生活アドバイザー 等
・地産地消をめざす元気なお母さん達が育ちつつある
グリーンツーリズム推進協議会
・有志の研究会による民泊試行が開始
・へんなかツーリズム事業のもと、町中の取り組みの窓口を一本化し、連携させる試みははじまっている

WILL 小国地域整備・活動方針 実現していくための活動

へんなかツーリズムによる もてなしの里づくり

- ・地域でもてなす体験型交流の創造と展開の実現

見極める 純農村型文化の発掘と継承
長期滞在型交流環境づくり

発信する 農村交流モニターの全国募集と情報発信
大学との研究交流による農村文化学習フィールドとしての地域イメージづくり

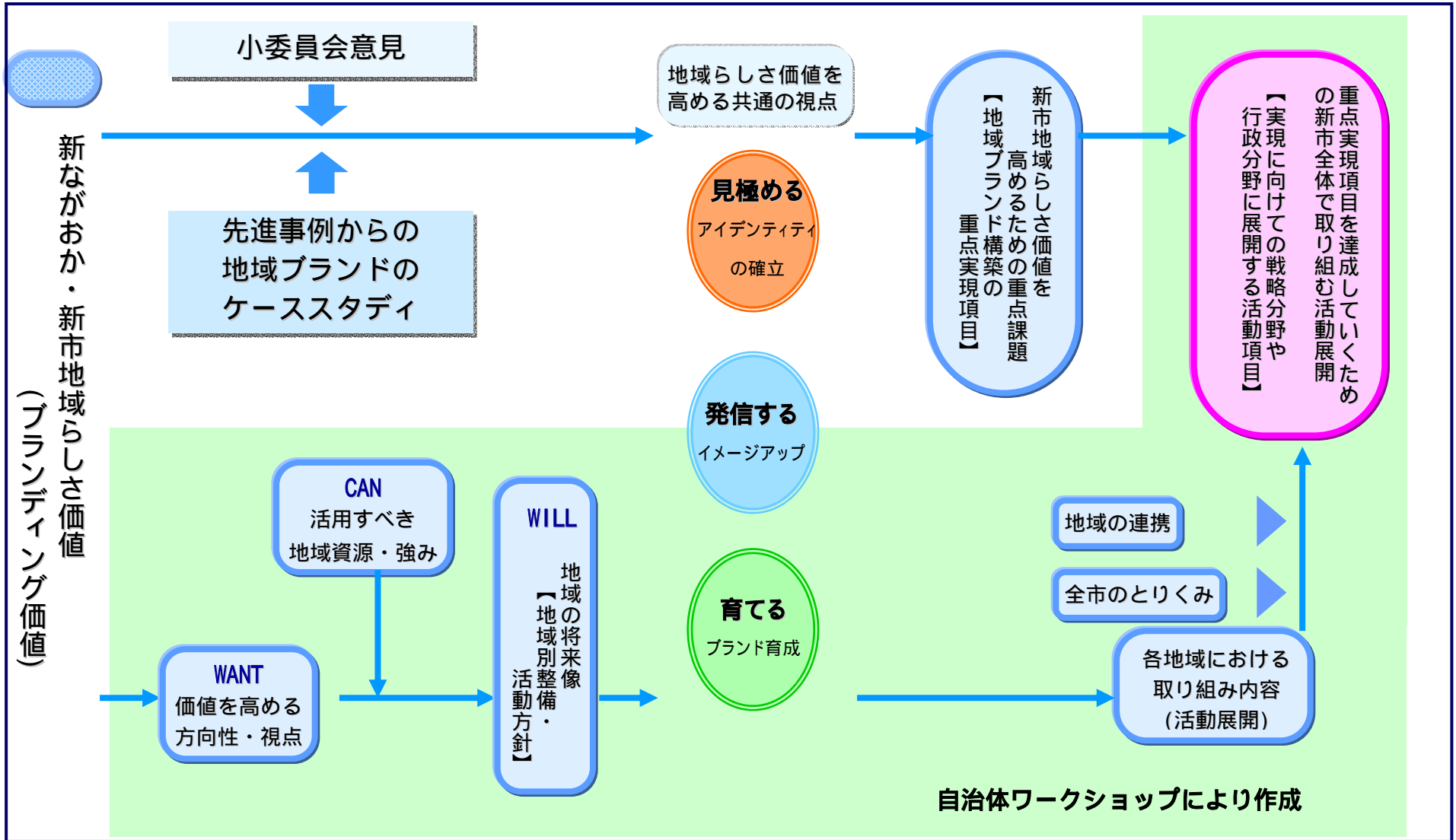
育てる 地域における“もてなし”の意識確立と体制づくり
本を活用した新たな都市と農村の文化交流推進

**新市地域らしさ価値の構築に向けた重点実現項目と
新市全体で取り組む活動展開
(案)**

2003年8月26日

長岡地域任意合併協議会事務局

新市地域らしさ価値構築に向けた考え方(流れ)



新市地域らしさ価値 その1: **独創企業が生まれ育つ都市** ~ 誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか ~

新市地域らしさ価値を高める視点	重点実現項目	新市全体で取り組む活動展開
<p>見極める アイデンティティの 確立・一貫性</p>	<p>新ながおかが誇る技と人を ネットワークする匠の国を創り上げる ~地域が誇る産業と技を核として 地域と人とを連携する~</p>	<p>新技術・高付加価値新製品の開発を生む、 地域の大学や研究機関との世界に誇る産学官協働ネットワークの構築 (例: 企業と地域が一体化した長岡型ネットワーク) ネットワーク強化等の流通革命、交通拠点創造の推進 (例: 新技術による長岡版流通構造の改革~情報技術、物流技術、金融技術の高度な融合を図る)</p>
<p>発信する 情報発信力強化・機会の 多様化</p>	<p>新しいビジネスモデルで made in NAGAOKA の魅力を世界に発信する ~社会を常にリードする 価値創造型製造業の育成と振興~</p>	<p>国境のない社会に対応した製品価値を伝えるプロモーション活動の推進 (例: 先端技術による情報発信) 海外からの技術者も快適に過ごせる情報・交流・滞在環境の整備と発信 (例: 国際ネットワークホテルを活用した情報交流機会の拡大や複合都市機能の再構築) 地域に伝わる伝統技術と地場産業の連携による新たな需要を掘りおこす 高付加価値商品の創出と、競争力のある新ながおかブランドの商品開発と発信 (例: 織物技術による耐火新素材開発等) 長岡地域を代表する既往産業のリソース(技術資源)を活用した、 全国・首都圏に競争力あるコア産業としての再構築を図るための拠点づくり (例: デザインシンクタンク機能の強化)</p>
<p>育てる 人材育成・ブランド育成</p>	<p>市民チャレンジャーの成功と 雇用を支える新たな起業促進の風をおこす ~起業やベンチャー企業育成を 支援するやシステムの整備・充実~</p> <p>未来のエジソンを生む 人材教育・人材育成の推進 ~産業革新に貢献する人材育成を 目指した教育と社会支援の実施~</p>	<p>世界の大学や企業とも連携した新産業やビジネスモデル(新たな市場づくり)の開発促進 (例: eコマース、eコミュニケーション、eマーケティングのコンサルティング環境の育成) 新たな雇用を創出する創業環境の整備・促進 (例: 大学の研究成果を企業に移転する機関、システムの整備充実)</p> <p>国内外の大学との交流や留学生の受け入れ環境の整備・推進 (例: インターンシップ制度等の活用と促進) 産業界が求める人材像(創造力、異文化理解、語学力)に即した高度教育の推進 (例: 理数系、語学、経営技術に特化した中高一貫校の創設、学生の海外留学支援) 産業界の人材が義務教育から生涯教育に参加し、地域の人材を磨く仕組みづくり (例: 金融ゲーム体験等の人材参加によるコミュニティスクールや起業人教育の実施)</p>

新市地域らしさ価値 その2: **元気に満ちた米産地** ~まごころ米の生まれる里・新ながおか~

新市地域らしさ価値を高める視点	重点実現項目	新市全体で取り組む活動展開
<p>見極める アイデンティティの 確立・一貫性</p>	<p>「新ながおか元気印ブランド」の 創造による「食の付加価値」の確立 ~地域農産物や酒、農産加工品、郷土料理を 組み合わせた新ながおかメニューの開発~</p>	<p>長岡地域の米をはじめとする農産物・農産加工品のブランド開発 「人を健康で元気にする」新ながおかブランドの価値の明確化 土づくりに代表される農産物に重要な安心感を大切にしたブランド育成と地産地消の促進 (例: 減農薬減化学肥料栽培の全市への拡大、遺伝子保存施設との連携システムづくり)</p>
<p>発信する 情報発信力強化・機会の 多様化</p>	<p>おいしさと安全・健康をキーワードとする 「新ながおか料理」の発信 ~おいしさに加え、健康増進、安全・安心等の 生活価値観に即したブランドを開発し、 全国に向けて強く発信することによって 日本の食卓を変える~</p>	<p>生産者の「心と顔」が見えるITを活用した販売手法の確立 (例: ICタグの活用による生産履歴表示活動標準化と在庫管理・販売促進への展開) 「新ながおか名物セット」の開発や外食産業等とタイアップした普及促進 美しい農村地域の実現と地域の特産品や伝統の技を活用した究極の食開発 (例: はざかけ米+おいしい水+酒蔵=究極の酒)</p>
<p>育てる 人材育成・ブランド育成</p>	<p>虫が舞い、人の豊かな営みが展開する 「食」「農」のユートピアを生み出す ~信濃川をはじめとする豊かな水や土壌を守り、 その恵みによる米作りや新しい「食」のあり方を 提案する「スローフード(風土)」の振興~</p>	<p>高付加価値型農産加工業の育成支援 (例: 大学と連携したバイオテクノロジーの研究・活用) 農業体験と観光産業の連携により地域内外で地産地消を促進 (例: 新ながおかフードファンクラブの展開) 次の世代につなげる魅力ある農業を担う人材の育成と確保 農業ブランドをリードする地域の人材ネットワークや活動の支援 地産地消や地域文化、「技」を継承し、発展させていくための活動の推進 (例: 食・農フォーラムやイベントの全国展開) 農村文化の継承や農村の活性化 (例: 農村体験を通じた地域コミュニティの連携) 環境に配慮した地域循環型の生産・消費生活を推進するための技術交流と普及活動 (例: 水質保全の徹底、ごみ発電導入によるリサイクル推進、生ごみ・堆肥循環システム)</p>

新市地域らしさ価値を高める視点	重点実現項目	新市全体で取り組む活動展開
<p>見極める</p> <p>アイデンティティの 確立・一貫性</p>	<p>「生きる楽しみ」「育つ喜び」が 実感できる生活環境の創出</p> <p>~すべての世代が住みたくなる住環境の実現~</p>	<p>自然の力、人の心などを活用した新たな予防医療の充実 (例: 自然環境を生かした触れて癒すタッチセラピーの研究、市民カウンセラーの育成)</p> <p>住宅地の緑や自然環境の保護によるゆとりある住環境の奨励と支援</p> <p>地域の豊かな暮らしを視点とした住民満足度や達成度の評価ができるシステム整備 (例: 市民側からの行政評価システムの導入)</p> <p>多様なライフスタイルを可能にし、人生を豊かにする暮らしづくり</p> <p>環境と共生する「ごみゼロ」社会の創出や新エネルギー活用 (例: 自然に戻る素材の利用促進、新エネルギーによるヒートアイランド対策)</p> <p>コミュニティや人のネットワークを生かした、 自然環境保全、子育て支援、人材育成のシステムづくり</p> <p>人々の生活を守る交通の安全性・快適性を追求したまちづくり (例: 夏の道を冷やすクールロードによる快適空間の創出等、身近なみちの快適性追及の活動)</p>
<p>発信する</p> <p>情報発信力強化・機会の 多様化</p>	<p>「元気に老いる」熟年力を活かした まちづくりの推進</p> <p>~身体の健康だけでなく、精神的な活力を 活かす場を創り、すべての世代が元気なまち~</p> <p>地球を想う「未来人」育成・発信地域の創出</p> <p>~子どもの力・自立した活動を 地域全体で伸ばし、発信する地域づくり~</p>	<p>すべての世代が活発に交流するコミュニティや施設、まちづくりの推進</p> <p>民間資本やNPO、ボランティアを活用した福祉拡充 (例: オープン型福祉施設の展開)</p> <p>高齢者の持っている経験豊かな知恵を生かせる場の創出 (例: 多様な分野のシルバーインストラクター登録と活用機会づくり)</p> <p>子どもたちの才能を早期に見出し、地域で伸ばす仕組みづくり (例: 全ての幼児・子どもの興味を見つける教育システム開発)</p> <p>子どもの豊かな発想を社会に反映させるシステムの全国展開 (例: 全国子供会議開催や「未来の地球人ながおか賞」など子ども顕彰制度)</p>
<p>育てる</p> <p>人材育成・ブランド育成</p>	<p>「子育て・教育」の分野で日本の モデル地域となる「21世紀の 米百俵プログラム」の開発・推進</p> <p>~子どもたちの「豊かな才能」を発見し、 みんなで育てるまちづくり~</p>	<p>出産・育児・教育に最適な環境をつくる (例: 0歳児保育の充実・待機児童ゼロ・新教育システム開発など)</p> <p>地域住民による歴史・自然・伝統文化を活かした地域学校教育のプログラム開発と実践</p> <p>医療・福祉・育児・家事支援サービスを提供する生活関連産業の重点育成 (例: NPO等による生活便利ネットワークへの支援とシステム化)</p> <p>日本一の通学(楽)環境の整備 (例: 学校が楽しくなる芸術作品の通学路への展示や安全安心の創意工夫)</p>

新市地域らしさ価値 その4: **世界をつなぐ和らぎ交流都市** ~ 「人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか ~

新市地域らしさ価値を高める視点	重点実現項目	新市全体で取り組む活動展開
<p>見極める</p> <p>アイデンティティの 確立・一貫性</p>	<p>地域資源を活用した新ながおか *コンベンション・シティの創設</p> <p>~地域資源・特性を活用した 地域内外の交流機会の創設~</p> <p>*「コンベンション・シティ」=種々の会議やイベントを開催する 環境を備え、それらの開催をもって地域発展の基礎とする都市</p>	<p>新ながおか交流革命(30万人の先進的な都市機能エリアの創出) (例:世界直結の交通ネットワーク化と国際コンベンション・スポーツフィールドづくり)</p> <p>憩いの場として多彩な交流が生まれる、水辺空間の創出 (例:舟運の復活と新たな水辺拠点づくり)</p> <p>ながおかの地域コミュニティ・世界との交流によるまちづくりで、 広く、豊かに人が育つ環境づくり</p> <p>(例:海外ボランティア活動への参加支援)</p> <p>地域資源(歴史・まつり、人、特産品)を提供する、 遊び・楽しみを連動した観光ネットワーク開発 (例:地域神楽舞共演、新ながおか歴史ミュージカルの創作・公演)</p>
<p>発信する</p> <p>情報発信力強化・機会の 多様化</p>	<p>すべての市民が「新ながおか親善大使」</p> <p>~地域の伝統文化、魅力をテーマ としたイベントの開発と実施~</p>	<p>「酒」「花火」「食」「雪」サミットなどで「新ながおか」の魅力を発信</p> <p>利雪・親雪で豪雪地帯を観光資源として発信 (例:新しい雪観光等のホワイトツーリズム開発)</p> <p>各地の特色あるまつりやイベントの掘り起こしと連携による独創的なイベント・祭りの開発 (例:新ながおか花火旬間の設定)</p>
<p>育てる</p> <p>人材育成・ブランド育成</p>	<p>「暮らしたい」「働きたい」「遊びたい」 ・・・魅力あるまちを目指す</p> <p>~すべての市民が「新ながおか」に 誇りを持てる都市の実現~</p>	<p>各地域の自然・伝統・文化を連携した新たな観光メニューの創出 (例:風景と音楽、自然と演劇等を組み合わせた芸術祭開催)</p> <p>訪れたい地域になるための地域が一体となった魅力度向上 (例:300年後の世界遺産を目指した取り組み)</p> <p>全市民が地域魅力への認識を高める交流人材、もてなし体制の創出 (例:新ながおか交流マイスター制度、地域資源キーパーソンの発掘)</p>